

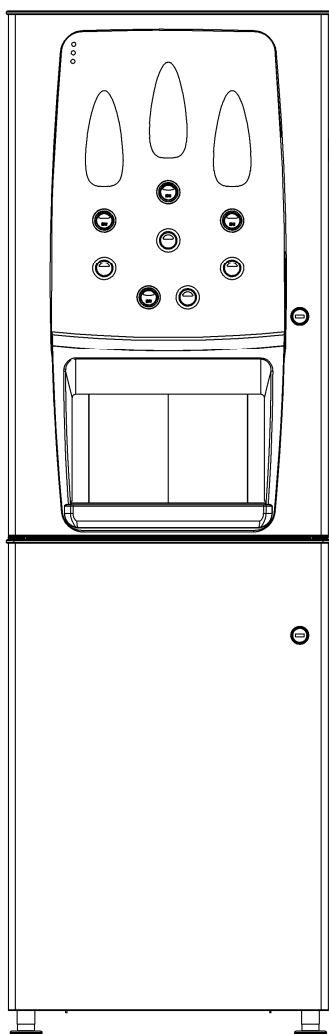


取扱説明書

富士電機粉末自動給茶機

形名	BHK370T	BHK270T
	BHK370S	BHK270S
	BHK370SB	BHK270SB
	BHK370C	BHK270C

このたびは弊社製品をお買いあげいただきありがとうございました。
お求めの製品を正しく使っていただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保管してください。
製品の正しい知識と取扱により、末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。



BHK370S・BHK370C

も く じ

1. 安全上のご注意	1-01	5. 定期的清掃と点検	
		◆ 清掃周期と清掃箇所	5-01
2. 製品の仕様		◆ 基本的な洗浄殺菌の手順	5-01
◆ 仕様表	2-01	◆ 毎日のお手入れ	5-02
◆ 内部構造図	2-03	◆ 毎週のお手入れ	5-03
		◆ 1か月毎のお手入れ	5-05
3. 据付け		◆ 6か月毎のお手入れ	5-08
◆ 据付け場所	3-01	◆ 販売を長期間停止する場合	5-09
◆ 製品の据付け作業	3-02	6. キーボード	
		◆ キーボードの外観	6-01
4. 販売準備		◆ 簡易設定のしかた	6-02
◆ 製品の立上げ作業	4-01	◆ キーの基本操作	6-04
		◆ 設定項目と標準データ	6-06
		◆ キーボードの操作方法	6-10
		7. 故障診断	
		◆ 故障と思ったら	7-01
		◆ キーボード操作による故障診断	7-03
		◆ 連絡していただきたい内容	7-08
		◆ 製造年月日の表示	7-08
		◆ シーケンス	7-09
		◆ 結線図	7-10

〈本書中の記号について〉

この取扱説明書の単位につきましてはSI単位{参考値}で表示しておりますので、製品の銘板等と多少異なる場合があります。
表示例：水道水圧0.075MPa{0.75kg/cm²}

【製造年月】

本機右側面下部に、機番の上3桁で製造年月を表示してあります。
上1桁目で製造した西暦年の下1桁を表し、上2，3桁目で製造年月を表します。
2008年05月製造は 805…となります。

1. 安全上のご注意

安全に関する重要な内容です。お読みいただき必ずお守りください。

「 警告」は、取扱いを誤った場合に、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

「 注意」は、取扱いを誤った場合に、人が障害を負う危険が想定される場合および、物的損害のみの発生が想定される内容です。

警 告



- 開梱、据付け、移動は、専門の据付け技術者またはお買上げ先に依頼してください。
不完全な据付けは転倒事故、感電、火災、火傷などの恐れがあります。
- 製品重量に充分たえられる丈夫で水平な床やテーブルに据付けてください。
不完全な据付けは転倒や落下によるけがの恐れがあります。
- 修理は専門の修理技術者またはお買上げ先に依頼してください。
修理部品は純正部品をご使用ください。
修理に不備があると感電、火災、けがの恐れがあります。
- 周辺で、都市ガスなどのガス漏れが発生した場合は製品や電源プラグには触れずに窓を開けて換気を行ってください。
爆発、火災、火傷の恐れがあります。



- 下記のような水気のある場所に設置する場合はアースを必ず接続してください。
a 魚屋、八百屋、クリーニング店の作業場などの水を取り扱う土間、洗車場、洗い場、
またはこれらの付近の水滴が飛散する場所
b 簡易な地下室のように常時水が漏出し、または結露するような場所
c 沼、池、プールなどおよびそれらの周辺の場所
d その他上記に類する場所
- アースは、ガス管や水道管、電話回線のアース、避雷針などに接続しないでください。
不完全なアースは感電の恐れがあります。



- 上に乗ったり、揺すったり、傾けたりしないでください。
転倒事故の恐れがあります。
- 子供達の遊び場に放置しないでください。
転倒事故によるけがの恐れがあります。
- 水害等で水に浸かった電気部品は、そのまま使用しないでください。
水分、泥、ごみ等を完全に除去して絶縁が回復していることを確認してから修理専門技術者が組立ててください。
感電や火災の恐れがあります。



- 無断で本機を改造しないでください。
事故発生の恐れがあります。



- 異臭・発煙・発火などの異常時は、直ちに電源プラグを抜き、専門の修理技術者またはお買上げ先に連絡してください。
異常のまま運転を続けると感電、火災の恐れがあります。

安全上のご注意

⚠ 警 告



- 濡れた手で電源プラグや内部のスイッチを操作しないでください。
感電の恐れがあります。
- 重いものを乗せたり、加工したり、引っばったりしないでください。
破損して、感電や火災の恐れがあります。



- シンナーなどの可燃物や可燃性ガスを本機近くで使用しないでください。
爆発や火災の恐れがあります。
- 内部にラッカー、ペイント、シンナー、可燃性スプレーなどの可燃物を入れないでください。
爆発や火災の恐れがあります。

⚠ 注 意



- つぎのような場所に据付けるときは、お買上げ先にご相談ください。
 - ・潮風や腐食性ガスにさらされる場所
 - ・揺れや振動の多い場所
- つぎのような場所に設置するときには、法律に適合しなければなりません。
適合場所が不明なときには、所轄の官庁にご相談ください。
 - ・防災の妨げとなる場所
 - ・消防用設備の周辺
 - ・可燃物や可燃性ガスを扱う場所（ガソリンスタンド等）
 - ・避難用の道路及び施設
- 警告表示類は常に正しく読めるように清掃や貼り替えをしてください。
見にくくなると事故発生の原因になります。
- 6か月に1度及び震度5以上の地震が発生したときは据付け面のがたつきや固定金具のゆるみなどを点検してください。
異常がある場合は専門の据付け技術者または、お買上げ先へ修理を依頼してください。
不完全な据付け状態のまま使用すると転倒事故の原因になります。
- 清掃するときは、電源を切ってください。
電源を切らずに作業すると感電、火傷、けがの原因になります。
- 排水スイッチのフロートの上昇をさまたげないようにセットしてください。
水もれ事故の原因になります。
- 作業が終了したら、排水バルブは「通常」側に戻してください。
水もれ事故の原因になります。
- 清掃などで取りはずした配管部品(飲料ホースなど)は、元の状態に戻してください。
ホースは15mm以上差し込んでください。
水もれ事故の原因になります。
- カセットタンクの水は毎日入れ替えてください。
水が腐敗し、事故の原因になります。
- 湯弁及び温水タンク給水ラインの部品の交換時は電源を切り、温水タンクの湯を抜いてから行ってください。
湯を抜いた後も温水タンクや止めリングが冷えていることを確認してください。
止めリングは確実に差し込んでください。
火傷や水もれの原因になります。
- 子供だけで使用したり、幼児の手が届く所で使用しないでください。
火傷の原因になります。
- 本機を廃棄するときは、専門の業者またはお買上げ先へ依頼してください。
放置による環境汚染や事故発生の原因になります。

安全上のご注意

△ 注 意



- 2日以上冷水をご使用にならないときは、オートリンス設定等で冷水を出して新しい水に交換してください。
不適正な日常衛生管理は事故の発生の原因になります。



- 国内で使用する目的で設計されています。
国外で使用すると、電源電圧が異なり、発火、発煙、焼損の原因になります。
- 次のような場所の機外配管は保護をしてください。
 - ・ 50℃以上の高温部や湯のかかる場所
 - ・ 踏みつける恐れのある場所
 - ・ ねずみ等にかじられる場所
 配管の破れ等により、液もれの原因になります。
- 電気部品は水や湯をかけたり、洗ったりしないでください。
感電の恐れがあります。



- 電源容量は必ず機器の定格に合わせてください。
許容電圧・電流の小さい電源を使用すると、火災の原因になります。
- 電源コンセントは他の製品と共用しないでください。
延長コードの使用やたこ足配線は、火災の原因になります。
- 電源コードは束ねて使用しないでください。
発熱して火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは1年に1度定期的に点検し、ほこりを拭き取り、根元まで確実に差し込んでください。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



- 電源コードの被覆が溶けることがありますので熱器具を近づけないでください。
火災、感電の原因になります。
- 漏電しゃ断器は月に1回以上テストボタンを押して電源が切れることを確認してください。
切れない場合は専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。
使用を続けると感電の原因になります。
- 漏電しゃ断器がたびたび動作したときは、専門の修理技術者またはお買上げ先へ修理を依頼してください。
使用を続けると感電や火災の原因になります。



- 内部の動作部に触れないでください。
けがの原因になります。



- 温水タンク、加熱装置およびその接触部分にさわらないでください。
高温のため火傷の原因になります。
- 熱湯が出ますのでそそぎ終わるまで手を入れないでください。
火傷の原因になります。
- テスト販売時、またはリンススイッチを押したとき、給湯ステージに手を入れないでください。
熱湯が出て火傷の原因になります。
- 排水コック（温水）は排水直後は熱くなりますのでご注意ください。
火傷の原因になります。

2. 製品の仕様

仕様表

BHK370T, BHK370S, BHK370SB, BHK370C

種 類		粉末自動給茶機			
形 名		BHK370T	BHK370S	BHK370SB	BHK370C
外 形 寸 法 (mm)		幅450×奥行500×高さ795		幅450×奥行500×高さ1450	
レベリング脚調整範囲		51～60mm		35～45mm	
製 品 質 量 (kg)		43	59	61	64
定 格	電 源		単相 100V 50／60Hz 15A		
	消費電力	給茶機部	1015W		
		冷水機部	193W／220W		
		カセット給水部	———		71W／80W
給 水	給 水		水道直結方式		カセット給水方式 (15L×2)
			水送水圧：0.075～0.6MPa{0.75～6kg／cm ² } 水送給水量：最低1.9L／分		水送水圧 ：0.2MPa{2kg/cm ² } 水送給水量 ：1.9～2.1L／分
	流 量 セ ン サ		有		
	排 水	標 準	外部排水方式		排水バケツ貯水方式(13L)
		オプション	———	———	———
	水フィルター		取付可能（本体背面）	オプション（殺菌水フィルター）	
給 茶 機 構	選 択 ボ タ ン		選択ボタン数：8		
	原料 搬出 方式		スクルー搬出式		
	原料 収 容 量		粉末原料：1.0L（約300g）×3キャニスタ		
	給湯口寸法(mm)		幅270mm × 奥行130mm × 高さ150mm		
冷 却 装 置	圧 縮 機		呼称出力65W 全密閉式圧縮機		
	冷 媒		HFC134a 封入量：90g		
	水 槽 容 量		有効容量：4.5L		
加 熱 装 置	温水タンク容量		有効容量：7.0L		
	ヒ ー タ		1000W		
	湯 温 度		標準設定96℃（80～96℃設定可能）		
	温度過昇防止装置		過昇防止サーモスタット		
制 御 装 置	制御方式		マイコン制御		
	簡易設定機能		液量設定，原料増減量設定		
	表示機能		液晶表示器付き，各種売切，故障表示		
	リンス機能		オートリンス，手動リンス機能付き		
	電子カウンタ		期間販売杯数		
	タイマ機能		週間予約設定：1日1回曜日毎，毎日設定可能 オートリンス：1日2回曜日毎，毎日設定可能		
	アラーム機能		・排気ファンフィルタアラーム ・冷却ユニットフィルタアラーム ・水フィルタアラーム		

仕様表

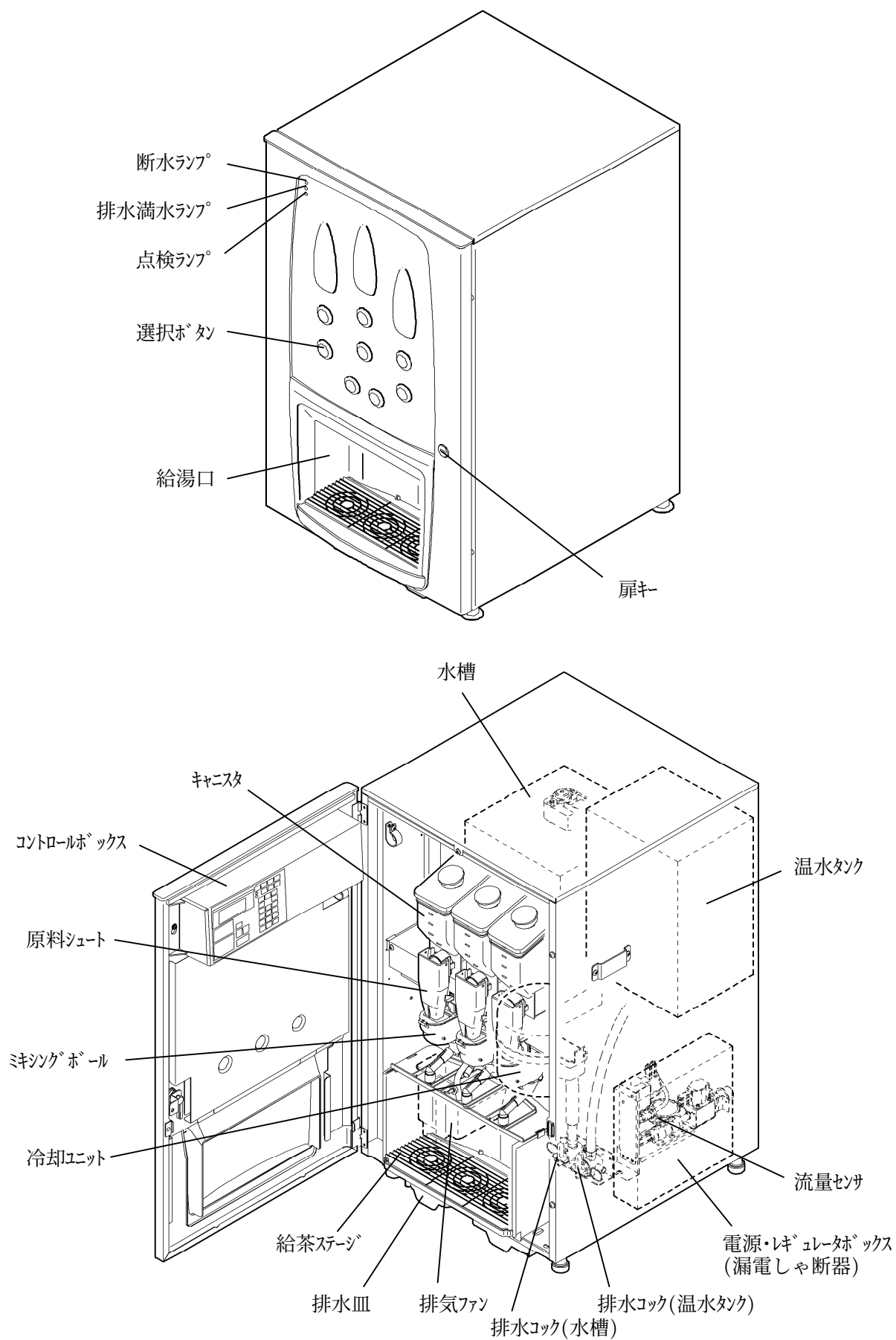
BHK270T, BHK270S, BHK270SB, BHK270C

種 類		粉末自動給茶機			
形 名		BHK270T	BHK270S	BHK270SB	BHK270C
外形寸法 (mm)		幅450×奥行500×高さ795		幅450×奥行500×高さ1450	
レベリング脚調整範囲		51～60mm		35～45mm	
製品質量 (kg)		42	58	60	63
定 格	電 源		単相 100V 50／60Hz 15A		
	消費電力	給茶機部	1015W		
		冷水機部	193W／220W		
		カセット給水部	———		71W／80W
給 水	給 水		水道直結方式		カセット給水方式 (15L×2)
			水送水圧 : 0.075～0.6MPa{0.75～6kg／cm ² } 水送給水量：最低1. 9 L／分		水送水圧 : 0.2MPa{2kg/cm2} 水送給水量 : 1.9～2.1L/分
	流量センサー		有		
	排水	標準	外部排水方式		排水バケツ貯水方式(13L)
		オプション	———	———	———
	水フィルター		取付可能 (本体背面)	オプション (殺菌水フィルター)	
給 茶 機 構	選 択 ボ タ ン		選択ボタン数：6		
	原料 搬出 方式		スクリュウ搬出式		
	原料 収 容 量		粉末原料：1.0 L (約300 g) × 2 キャニスタ		
	給湯口寸法(mm)		幅270mm × 奥行130mm × 高さ150mm		
冷 却 装 置	圧 縮 機		呼称出力65W 全密閉式圧縮機		
	冷 媒		HFC134a 封入量：90 g		
	水 槽 容 量		有効容量：4. 5 L		
加 熱 装 置	温水タンク容量		有効容量：7. 0 L		
	ヒ ー タ		1000W		
	湯 温 度		標準設定96℃ (80～96℃設定可能)		
	温度過昇防止装置		過昇防止サーモスタット		
制 御 装 置	制御方式		マイコン制御		
	簡易設定機能		液量設定, 原料増減量設定		
	表示機能		液晶表示器付き, 各種売切, 故障表示		
	リンス機能		オートリンス, 手動リンス機能付き		
	電子カウンタ		期間販売杯数		
	タイマ機能		週間予約設定：1日1回曜日毎, 毎日設定可能 オートリンス：1日2回曜日毎, 毎日設定可能		
	アラーム機能		・排気ファンフィルタアラーム ・冷却ユニットフィルタアラーム ・水フィルタアラーム ・水槽水アラーム		

内部構造図

(1)構造図

BHK370T, BHK270T:卓上形

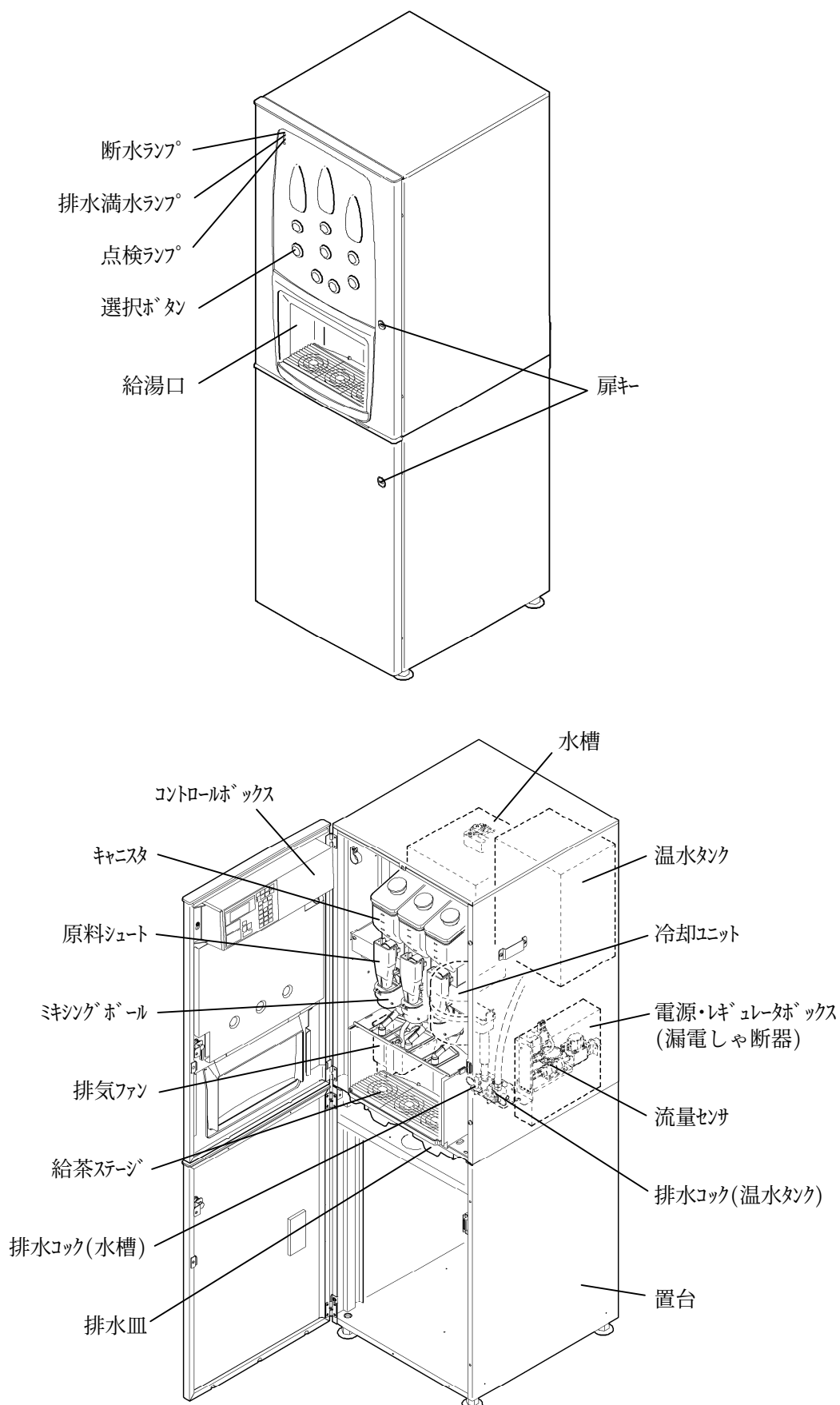


※ 本図はBHK370Tを示す。

内部構造図

(1)構造図 (つづき)

BHK370S, BHK270S:床置形

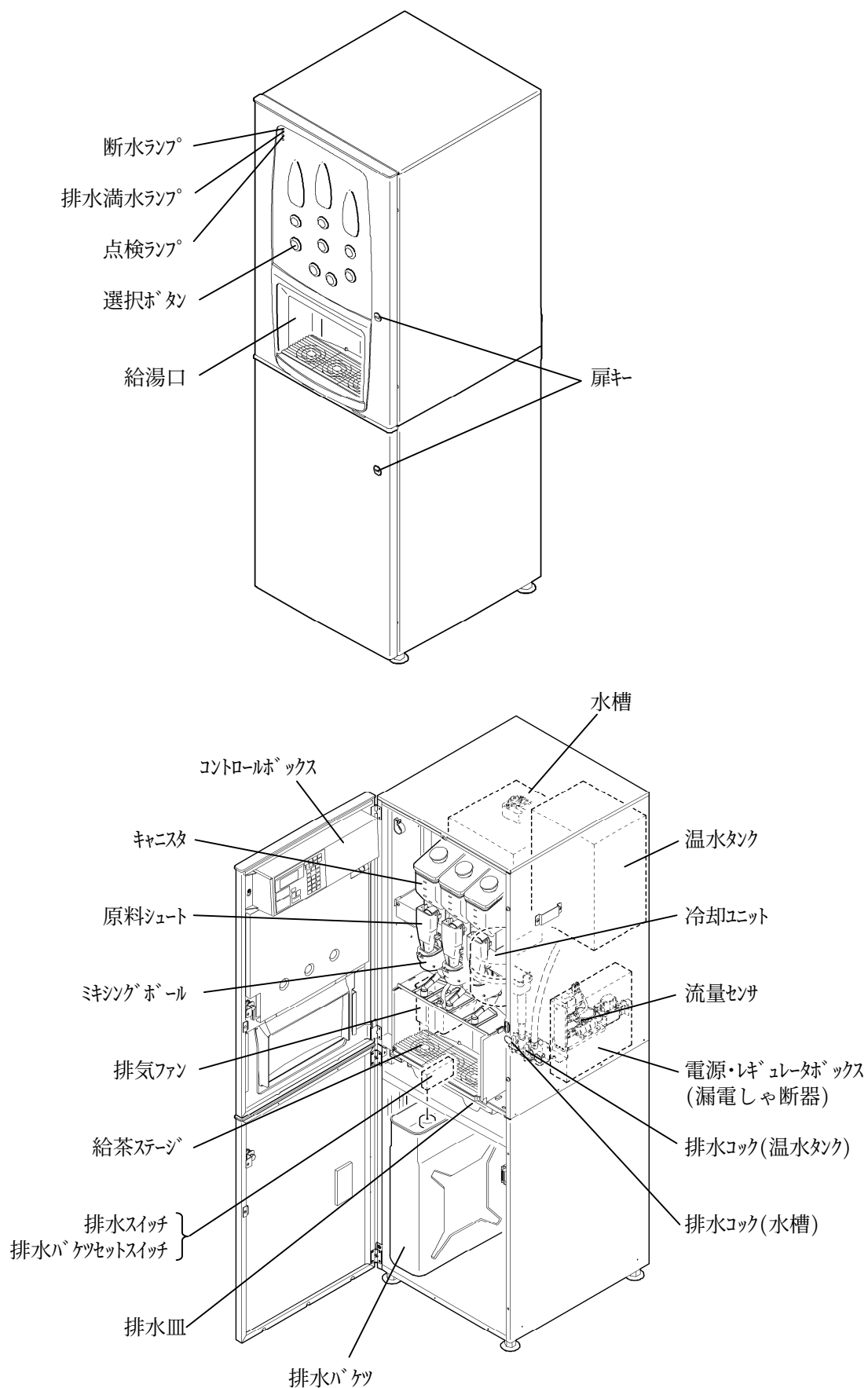


※ 本図はBHK370Sを示す。

内部構造図

(1)構造図 (つづき)

BHK370SB, BHK270SB:床置形(排水バケツ)

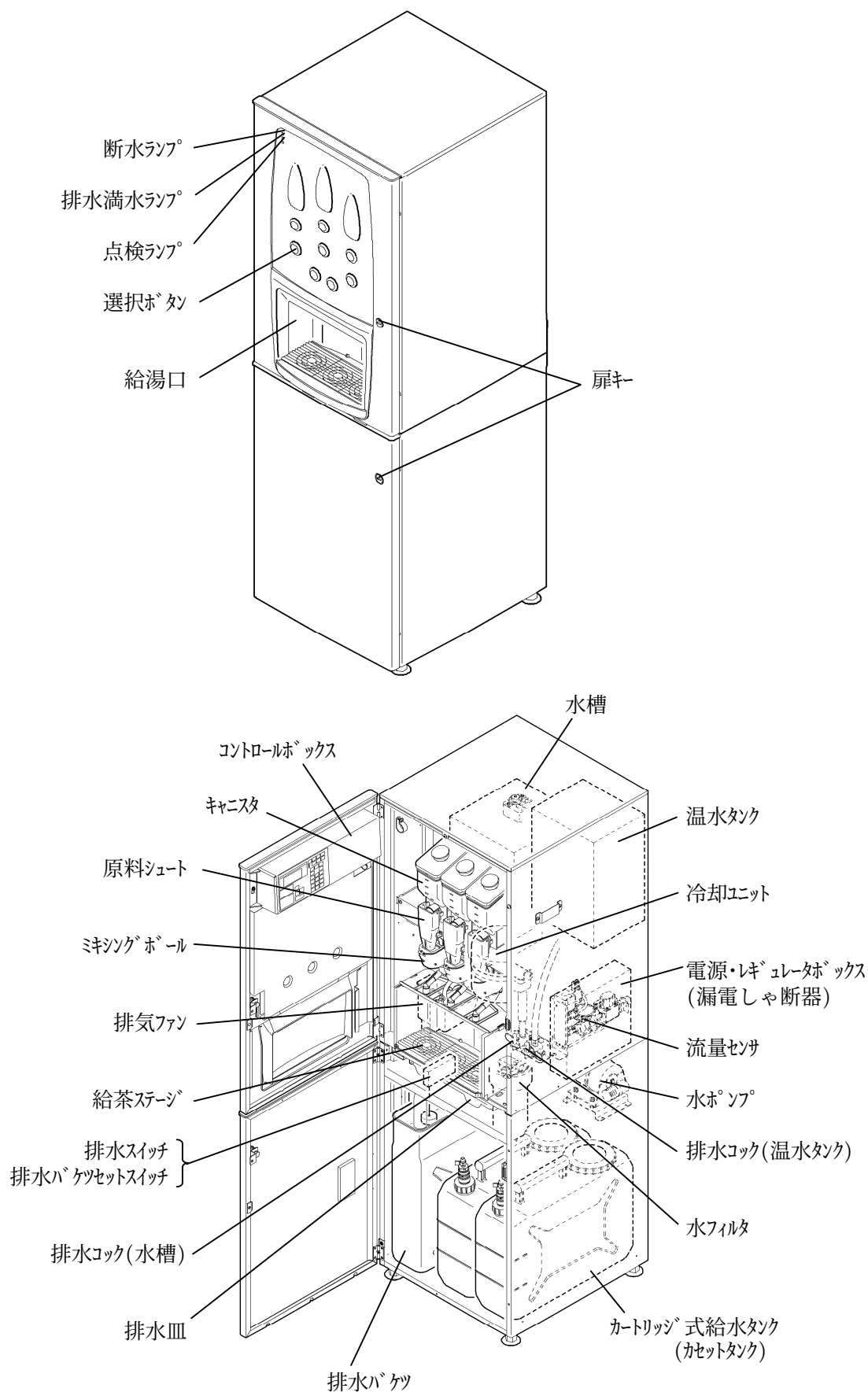


※ 本図はBHK370SBを示す。

内部構造図

(1)構造図 (つづき)

BHK370C, BHK270C:床置カセット給水形



※ 本図はBHK 370 Cを示す。

3. 据付け

据付け場所

この自動給茶機は **屋内設置専用** につくられて

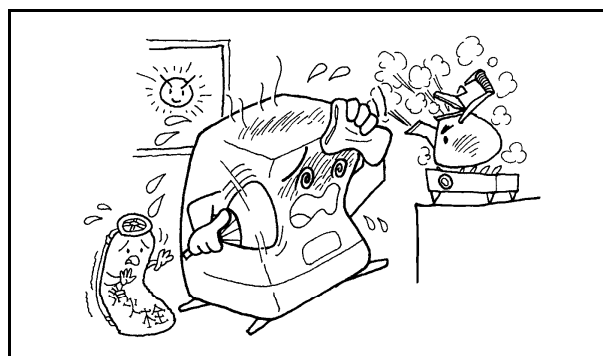
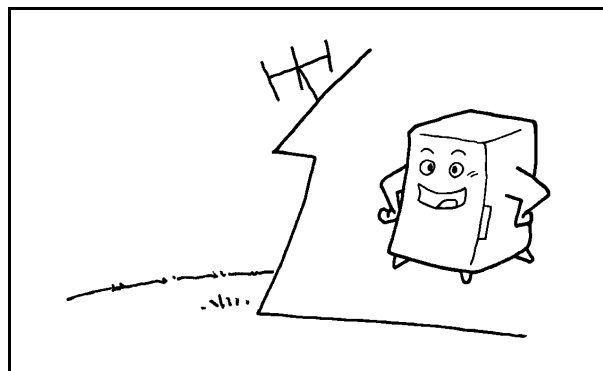
います。

設置・据付けについては、つぎの点にご注意ください。据付けは販売店に依頼してください。

(1) 据付け場所の選定

◆ 環境条件の悪い所は避けてください。

- ① 通路や防災機器（消火栓等）を使用するのにじゃまになる場所には据付けしないでください。
- ② 直射日光の当たる場所や、熱器具のそばには据付けしないでください。
- ③ 水がかかるところ。
- ④ 給排水が不便なところ。
- ⑤ 周囲温度が35℃以上になったり、5℃以下になったりするところ。



[!] 環境の悪いところでは、表示類の変色、塗装の劣化、部品の腐食などを早めます。また35℃以上になると冷却能力が低下し、故障の原因となります。

◆ 振動のない水平なところに据付けてください。

- ① 傾斜がある床や弱い卓上は避け、振動のない所に据付けてください。
- ② 製品の傾きは前後左右1°以内になるように設置してください。

[!] 製品の傾きは、扉下がりや製品の転倒および誤動作の原因となることがあります。

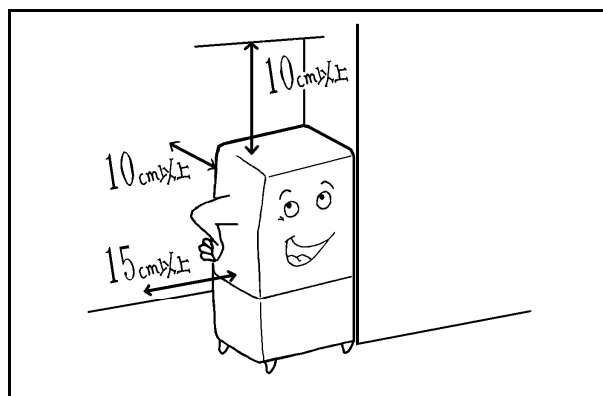


◆ 製品の周囲のスペース

- ① 製品の背面および上面は10cm以上、左側面は15cm以上必ずあけてください。配管を行う上で必要です。また冷水機の通風や吸気フィルタの取付け、取りはずしのために必要です。

[!] スペースが確保されない場合は、冷却不良を起こす原因となることがあります。

- ② オプション部品のカップホルダを取付ける場合、取付側の側面は10cm以上あけてください。



◆ 標高の高い所に設置するとき

- ① およそ600mの高度で沸点が1℃下がるため、標高の高い所で温水設定を高めにするると沸騰する恐れがあります。標高に合った設定温度でご使用ください。

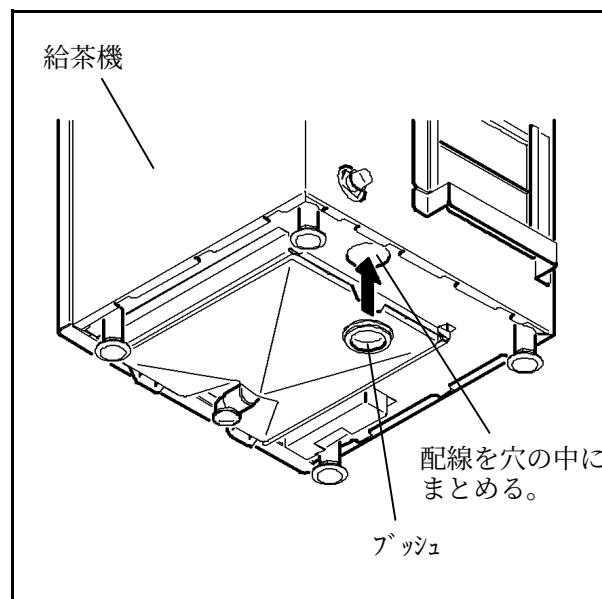
製品の据付け作業

(1)カプラの接続

BHK370T, BHK270T:卓上形

給茶機本体の配線の収納が必要です。

- ① 給茶機下部よりの配線を機内に収納し、付属のブッシュにて穴をふさぎます。

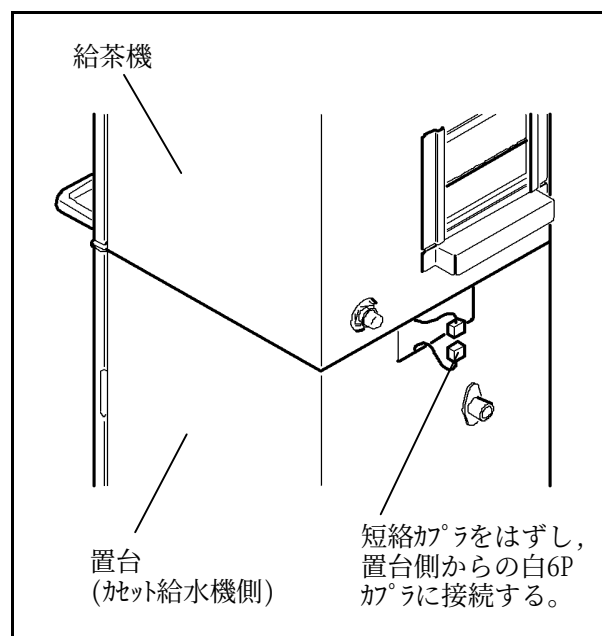


BHK370SB, BHK270SB:床置形(排水ハケツ)
BHK370C, BHK270C:床置カセット給水形

給茶機本体と置台（カセット給水機側）の配線の接続が必要です。

- ① 給茶機下部よりの配線に接続されている白6Pの短絡カプラをはずします。
- ② 短絡カプラをはずした配線を置台よりの配線と接続します。

[!] 配線がポンプに接続しないよう、置台側のクランプにてまとめてください。



製品の据付け作業

(2)給水配管の接続

BHK370T, BHK270T:卓上形

◆ 水道直結方式 (卓上形)

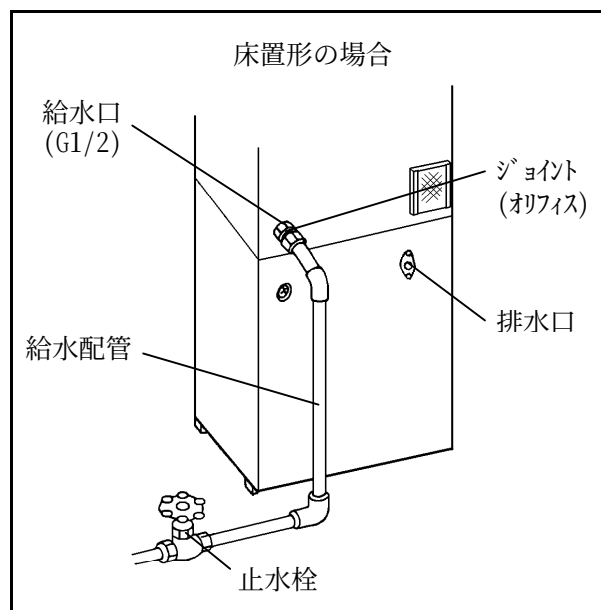
- ① 給水口はG 1／2，排水口はG 3／4になっています。
- ② 給茶機の近くに必ず専用の止水栓を取り付けてください。

BHK370S, BHK270S:床置形
BHK370SB, BHK270SB:床置形(排水バケツ)

◆ 水道直結方式 (床置形)

- ① 卓上形と同じ方法で配管の接続を行ってください。

給水配管工事上のご注意



[!] 水道直結方式の場合で水圧が0.3MPa {3kg/cm²} 以上の場合は必ずジョイント (オリフィス) 取付けてください。水圧が高いと水漏れの恐れがあります。
水圧を測定する器材が無い場合、簡易的に水圧を測定する方法として、冷水連続出し釦と5オンスカップを利用し、測定することができます。
[簡易測定方法]
・必要部材 5オンスカップ、ストップウォッチ
・方法
給茶機にジョイントを接続しない状態で冷水連続出し釦を連続押しして5オンスカップから溢れる時間を測定してください。6秒以内に溢れるなら水圧は0.3Mpa {3kg/cm²} 以上ですので、ジョイント (オリフィス) を取付ける必要があります。

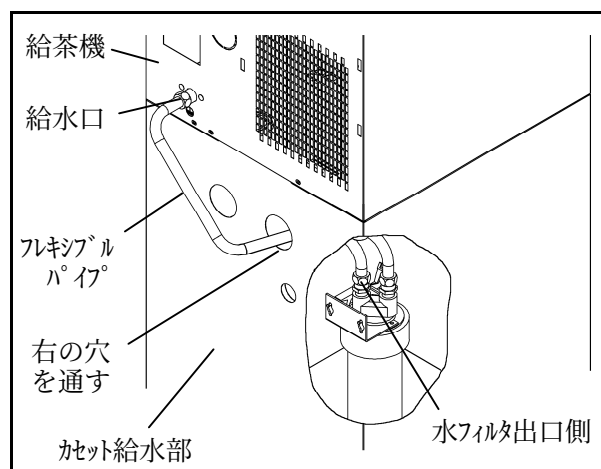
- ① 給水する水は水道法による公営水道を使用してください。それ以外の水を使用する場合は水道法に定める水質基準以上の水を使用してください。
- ② 水道水圧は最低0.075MPa {0.75kg/cm²} です。また最高水圧が0.6MPa {6kg/cm²} を越える場合は減圧弁を取り付けてください。
- ③ 水道給水量は機械入口にて最低1.9L/分必要です。
- ④ 水道配管工事は水道局の指定工事店に依頼して行ってください。

BHK370C, BHK270C:床置カセット給水形

◆ カセット給水方式

- ① 右図のようにカセット給水部に付属されているフレキシブルパイプの曲げてある方の接続部を背面右側の丸穴から水フィルタの出口側に接続します。
- ② フレキシブルパイプのもう片側の接続部を給茶機側の給水口に接続します。

[!] ①②の接続には、付属の平パッキンを忘れずに挿入してください。



[!] フレキシブルパイプ取付時、接続部から20mmの範囲では曲げないでください。接続部付近で無理に曲げると水漏れの恐れがあります。

[!] フレキシブルパイプを取り回す際の曲げはR50mm程度にして大きく取り回してください。曲げが小さいとパイプが破損し、水漏れの恐れがあります。

製品の据付け作業

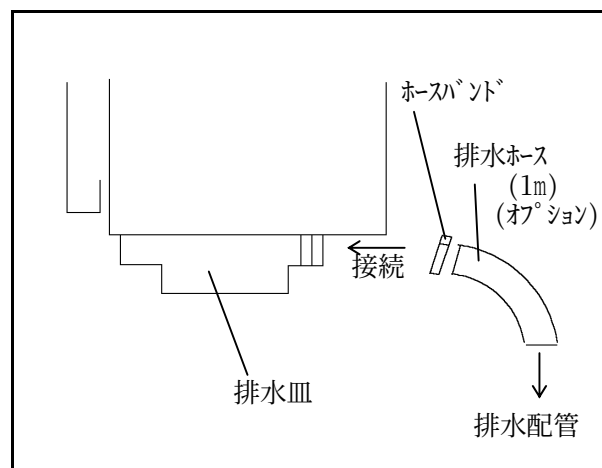
(3)排水配管の接続

BHK370T, BHK270T:卓上形

◆ 外部排水方式

- ① オプションの排水ホース（1m）を差し込んでホースバンドで取り付けてください。
- ② 建屋側への排水配管に排水ホースを差し込んでください。
この時、排水ホースがはずれないように固定してください。

【!】 排水配管工事は、配管工事専門の業者に依頼して規定の配管を行ってください。

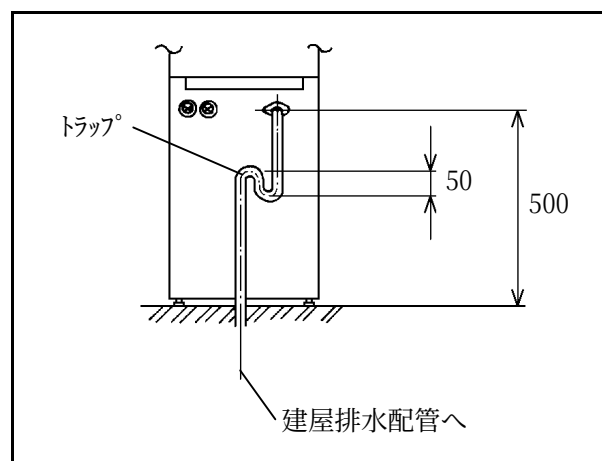
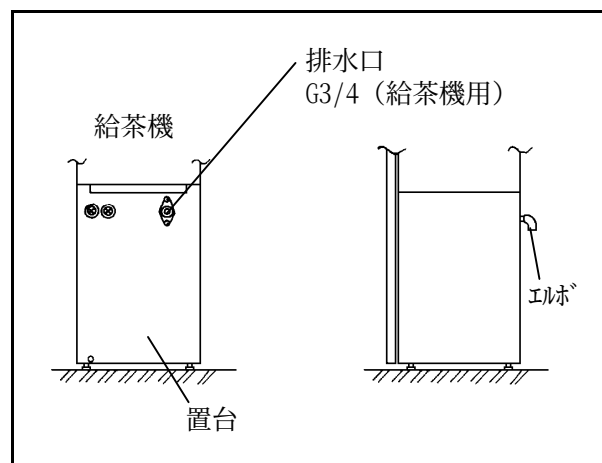
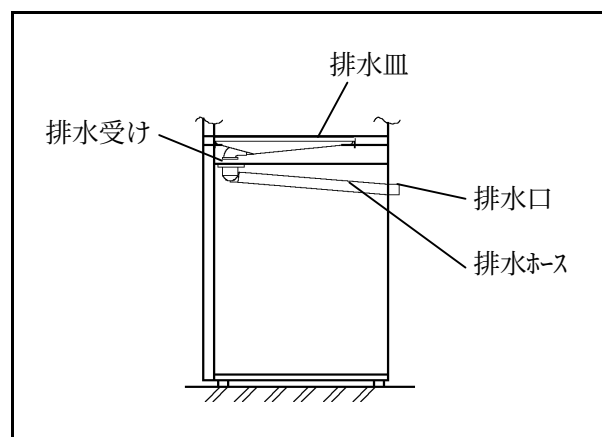


BHK370S, BHK270S:床置形

◆ 外部排水方式

- ① 給茶機本体と置台を連結していただければ右図の状態で使用できます。
- ② 排水口のねじ部にシールテープを巻いて、付属の給水せんエルボを取り付けてください。
- ③ 建屋側への排水配管を行ってください。
この時、必ずトラップを設けてください。
使用配管は呼び20以上の管を使用してください。

【!】 排水配管工事は、配管工事専門の業者に依頼して規定の配管を行ってください。



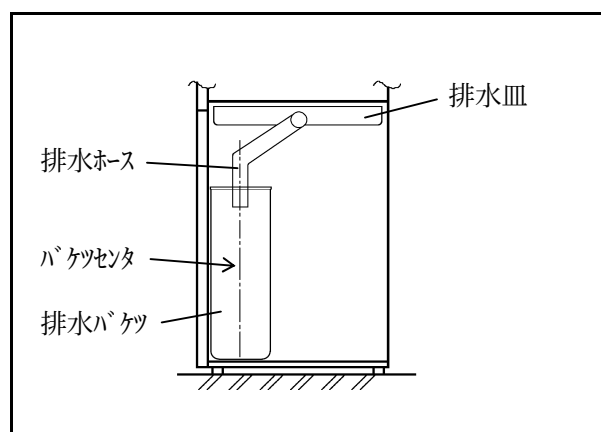
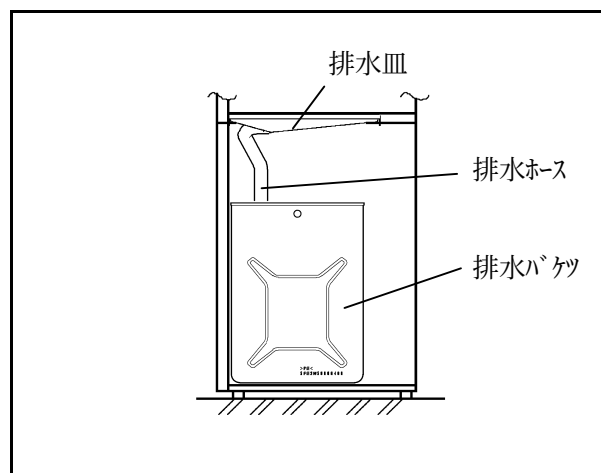
製品の据付け作業

(3)排水配管の接続(つづき)

BHK370SB, BHK270SB:床置形(排水バケツ)
BHK370C, BHK270C:床置カセット給水形

◆ 排水バケツ貯水方式

- ① 排水皿に付属の排水ホースを差し込んで取付けてください。
- ② 排水ホースが排水バケツに確実に入るように角度に注意して取付けてください。



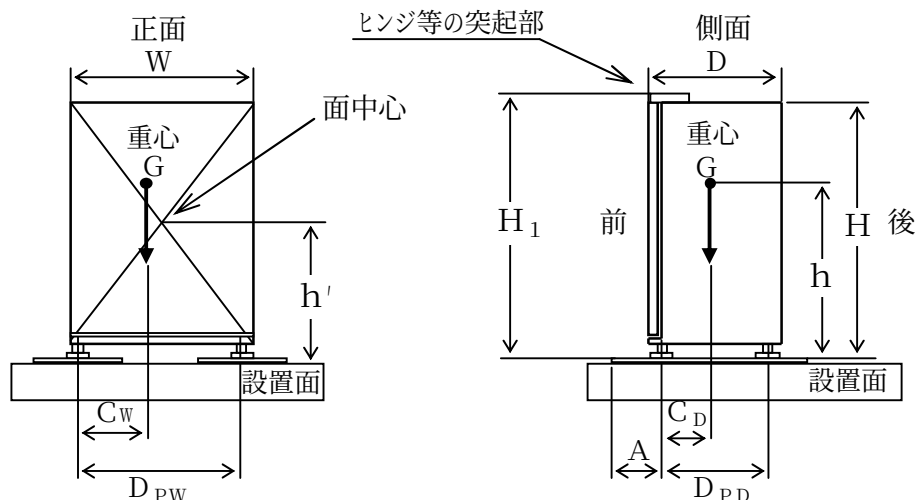
製品の据付け作業

(4)転倒防止用鉄板を使用する場合

①本機の前脚から転倒防止用鉄板端面までの寸法（A寸法）は(5)「据付け仕様」を参照ください。

②転倒防止用鉄板は裏表紙に掲載してある最寄りの弊社サービス機窓窓口にご用命ください。

(5)据付け仕様



			商品なし	商品満載
G	: 製品質量	kg	64	79
h	: 重心高さ	mm	868	932
C _D	: 重心から前側の脚の 中心部までの距離	mm	210	232
C _W	: 重心から左側の脚の 中心部までの距離	mm	206	199
D _{PD}	: 前後の脚の距離	mm	420	
D _{PW}	: 左右の脚の距離	mm	420	
h'	: 面中心の高さ	mm	742.5	
H×W×D	: 外形寸法	mm	1450× 450× 500	
H ₁	: 突起部を含む高さ	mm	1450	

●A, h, h'は最大高さとなるバネリングスクリューの高さを50mmにしたときの値です。

また商品満載時の質量は、最大質量の商品を装填したものです。バネリングスクリューを縮めた場合や転倒防止用鉄板(おもりの搭載)を使用した場合は重心高さが改善されるため別途計算してください。A寸法は設置条件に合わせて別途計算し、適切な設置をしてください。

●本機内におもり等を用いてA寸法を改善する際には、扉を開いたときの前方転倒には十分な注意をしてください。

※下記は上表の“商品なし”時のデータにて算出しています。

必要となる据付の概要（地震力により本機脚部に生じる地上面における引張荷重について）

後側脚部について（前方転倒への対応）

- ・固定金具：E型× 1 枚
(固定金具の引張荷重 ⇒ 1 枚 : 411 [N])
- ・M10あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 40 mm以上
- ・M12あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 50 mm以上
- (アンカーの引張荷重 ⇒ 1 本 : 821 [N])

前側脚部について（後方転倒への対応）

- ・固定金具：E型× 1 枚
(固定金具の引張荷重 ⇒ 1 枚 : 411 [N])
- ・M10あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 40 mm以上
- ・M12あと施工アンカー : 1 本 ⇒ 最小へりあき寸法 : 50 mm以上
- (アンカーの引張荷重 ⇒ 1 本 : 821 [N])

※固定金具とあと施工アンカーの必要数量が異なるときは多い方の数に合わせています。

基本的には4箇所固定を推奨します。

	A寸法 (mm)
前転倒角度15度を満足するための寸法 A ₀	A寸法 : — 鉄板型式 : —
地階および1階	A寸法 : 263 鉄板型式 : 900型
2階以上	A寸法 : 569 鉄板型式 : 1300型
最上階および屋上	据付施工は別途協議 A _U = 2h - C
●Cは前倒れに対するA寸法としてC = C _D で算出しています。後倒れ・横倒れによる危険が想定される場合は別途計算するか、当社にご相談ください。	
●W>Dの場合、C _W およびD _{PW} は省略する場合があります。	
●鉄板型式の記号は据付基準マニュアル参照。	

A₀は、扉開、ラック引出しなどの最悪条件下での電安法の前転倒角度を満足するためのA寸法です。

4. 販売準備

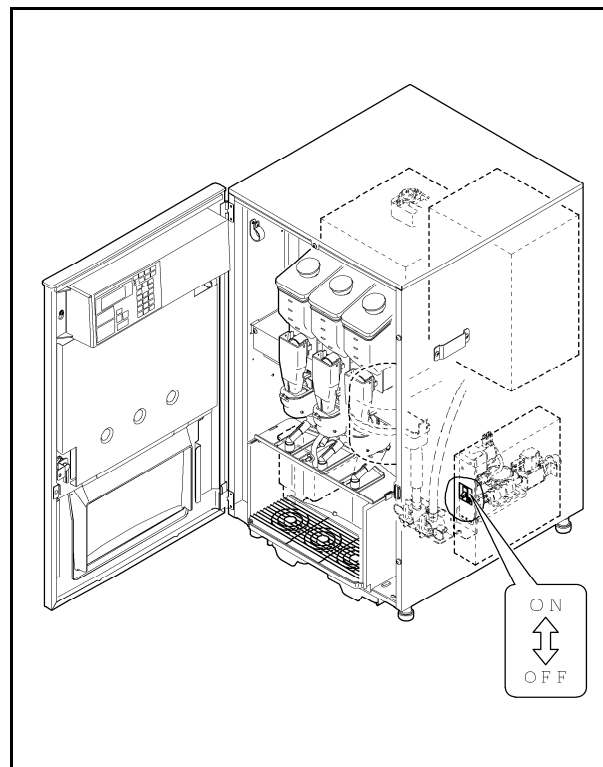
製品の立上げ作業

(1)電源の投入

- ① 漏電しゃ断器のレバーをON側にする。

(2)制御の立上げ

- ① [機能] 27：給水方式の設定を行います。
- ② [タイマー] 01：現在年月日の設定を行います。
(6-10,11ページ参照)
- ③ [タイマー] 27：排気フィルタアラームの設定を行います。
- ④ [タイマー] 28：水フィルタアラームの設定を行います。
- ⑤ [タイマー] 29：水槽水アラームの設定を行います。
- ⑥ [タイマー] 30：冷却ユニットフィルタアラームの設定を行います。



製品の立上げ作業

(3)カセットタンクの水の補給方法

- ① クイックコネクトのリングを上引き上げて、カセットタンクから給水ホースをはずします。

[!] ロックリングの凸部がクイックコネクトの凹部に合う位置まで回してください。
ずれているとはずれません。

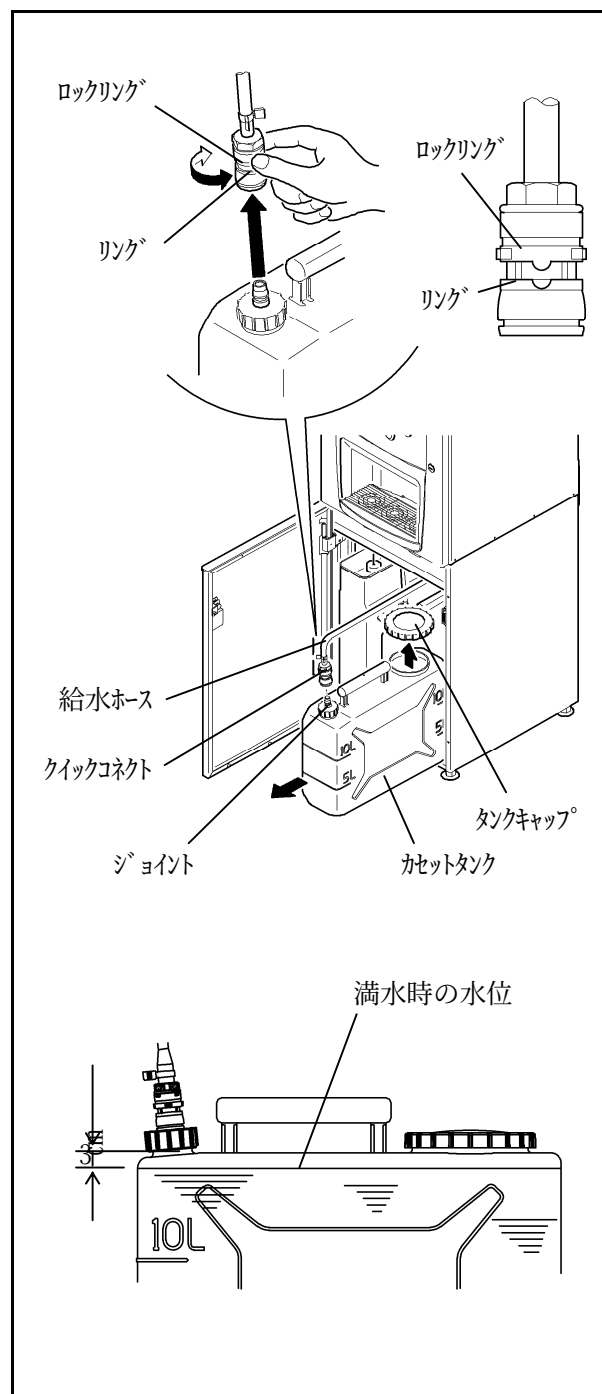
- ② カセットタンクを引き出してください。
- ③ タンクキャップを回転させ、取りはずしてください。
- ④ 別の容器で水を補給してください。

[!] 水は必ず左右両方のタンクに満水になるまで補給してください。

- ⑤ 補給後、タンクキャップを取付け、機械内にカセットタンクを入れてください。
- ⑥ コネクタを取付けてホースのくびれがないか、確認を行ってください。

[!] ・カセットタンクの水は、毎日交換してください。
・水フィルタの交換は、定期的に行ってください。
・カセットタンクには、絶対に湯を入れないでください。(水温35℃以下)

[!] カセットタンクは必ず2個とも水を入れ、コネクタを接続してください。
片側が空の状態、又は接続していない状態ですと販売量バラツキの原因となります。



製品の立上げ作業

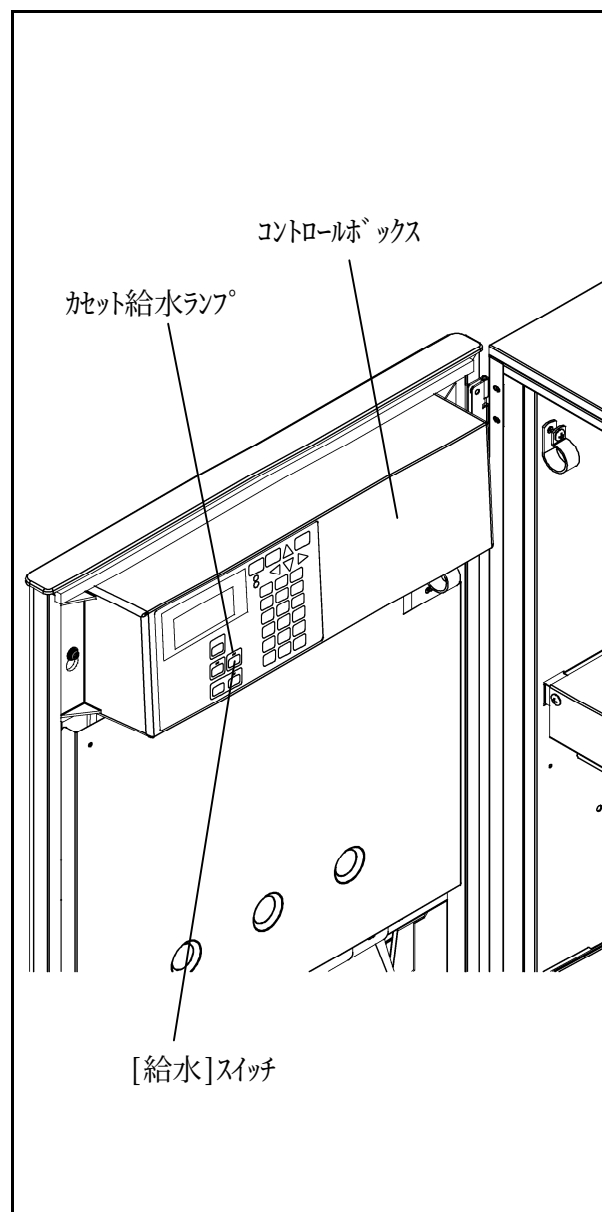
(4)給水のしかた

給水ランプ点滅時には機内への給水が必要です。
つぎの手順で行います。

- ① コントロールボックスの「給水」スイッチを押します。水槽への給水が開始されます。
 - ② 断水ランプが点灯していてカセットタンク内に水が残っていない場合は水を補給し、再度「給水」スイッチを押してください。
 - ③ 水槽の水量が適量になりますと温水タンクへの給水に切替わります。
 - ④ 温水タンクの水量が適量になりますと、給水は自動的に停止します。
- ◇ 温水タンクが運転し、注出可能になるまで約30分かかります。(水温15℃時)
- ⑤ 冷水が出てくるまで選択ボタン(冷水)を押して配管内に給水します。

[!] 水ポンプ動作中にカセットタンクの水がなくなると3秒間程度、水ポンプが空運転しますが異常ではありません。

[!] 据付け後、初めての運転時にポンプ内が乾燥していて水をくみ上げない場合があります。その場合は1本の給水タンクを持ち上げ給水するか、フィルタをはずし、フィルタヘッド下側をバケツ等で受けて、ポンプ内に通水を行ってください。一度ポンプ内に水が通ると水で濡れている状態が持続され、その後はポンプ能力が上がり、正常に給水されます。

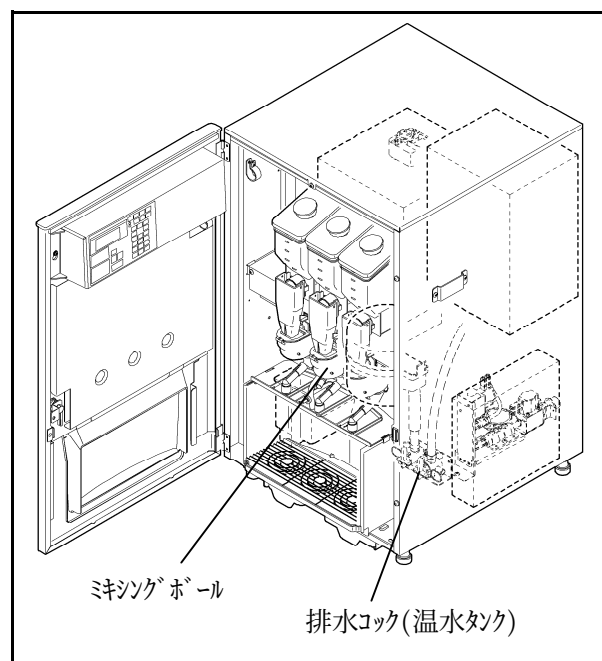


(5)配管洗浄

出荷時に実施しておりますが、臭い取り、配管の洗浄のために行ってください。

- ① 温水タンクを設定温度まで沸かします。
- ② 温度が設定温度に達したら、選択ボタンを押しコップ4～5杯分の湯を出して配管内の洗浄をする作業を全部の選択ボタンでくり返し行ってください。
- ③ 漏電しゃ断器をOFFし、温水タンクの排水コックを開いて、湯を捨ててください。
- ④ 再度、漏電しゃ断器をONし、(4)項の給水のしかたにより再給水してください。

[!] 排水満水、温水タンク低水位のときは、選択ボタンを押しても動作しません。



製品の立上げ作業

(6)原料の充てん

- ① キャニスタのふたをあけて、原料を上から静かに入れてください。
(ふたにはストッパが付いています。)
- ② 飲料設定キー長押しで原料連続出しモードになります。連続出ししたい原料№の数字キーを押してください。
数字キーを押している間連続出しを行いますのでキャニスタの吐出口まで原料を充てんしてください。

【!】 原料は無理に詰め込みますと、内部で固まって出なくなることがあります。

【!】 各キャニスタと選択ボタンの関係は右図のようになっています。まちがいのないように入れてください。

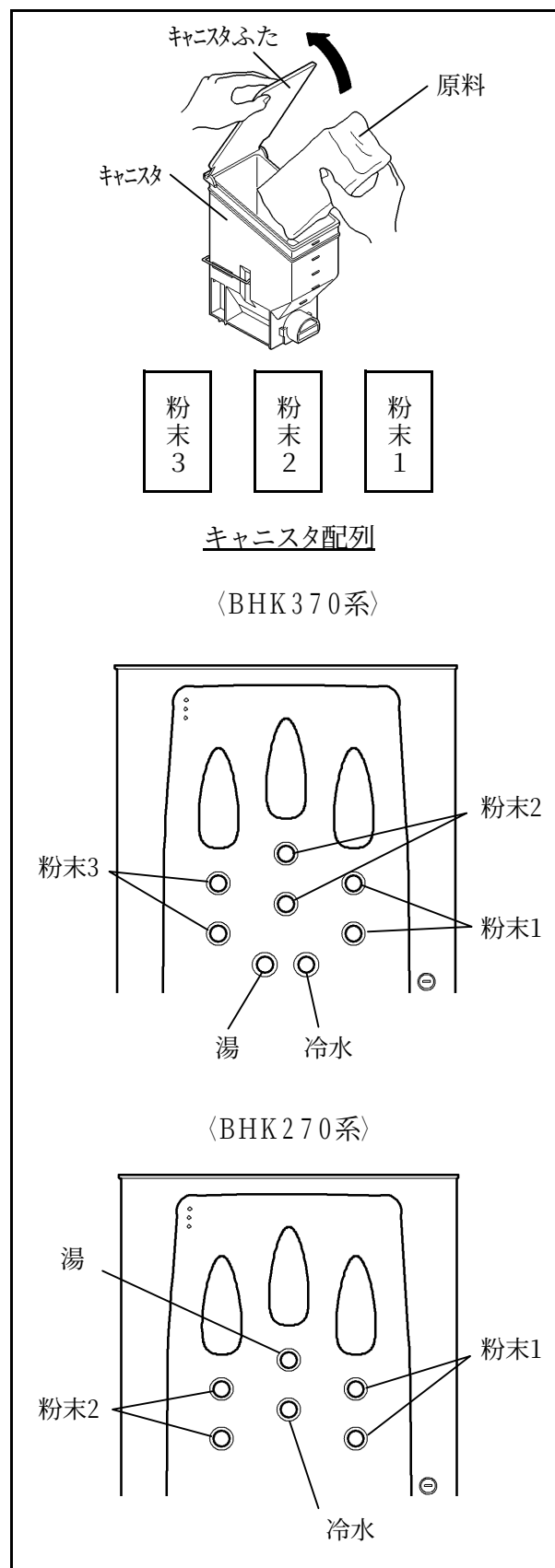
【!】 原料補給量は1～2日分の量としてください。長時間入っている原料は固まりやすくなります。

【!】 原料が外にこぼれないように入れてください。

【!】 原料投入後は必ず、リンスを行ってください。こぼれた原料がミキシングボール内に残っていると固着の原因になります。

◇ 原料固着防止のため夜間や休日でも電源をOFFしないでください。
やむをえず電源をOFFする場合は原料を1度キャニスタより別の袋に移し、吸湿しないよう保管ください。

【!】 原料3についてはBHK270系にはありません。



(7)飲料を出す

- ① 給湯ステージにカップを置き好みの選択ボタンを押してください。

5. 定期的清掃と点検

清掃周期と清掃箇所

販売商品の衛生管理及び製品機能の保持のため、機械などのお手入れを定期的に行う必要があります。つぎのお手入れを実施してください。

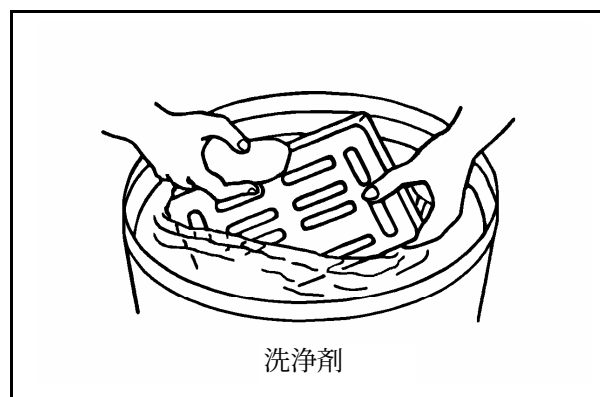
周 期	箇 所	周 期	箇 所
(1) 毎 日	●飲料回路 ●排水皿、排水バケツ ●給茶ステージ ●本体の内外部の汚れ	(3) 1 か月	●キャニスタ ●カセットタンク ●温水タンク ●冷却ユニットフィルタ ●排気トレイ ●排気ファン
(2) 毎 週	●飲料ノズル (飲料1～3, 湯/冷水) ●原料シュート ●ミキシングボール ●排気ファンのフィルタ	(4) 6 か月	●水槽 ●殺菌水フィルタ ●湯弁
		(5) 販売を長期間 停止する場合	(1)～(4)を全て行う

基本的な洗浄殺菌の手順

原料、飲料、カップとふれる部品は、常に清浄にしなければなりません。これらの部品を洗浄するときは、つぎの手順で行ってください。

- ① 洗浄しようとする部品を水洗いします。
 - ② 洗浄剤を投入した容器内で、充分ブラシ洗浄した後簡単に水洗いします。
 - ③ 殺菌性洗浄剤の溶液中に10分間浸漬します。
 - ④ 殺菌性洗浄剤が完全になくなるまで水道水で充分水洗いします。
 - ⑤ 乾燥を必要とする部品（キャニスタなど）は乾いた布で水分を拭き取った後、充分乾燥してください。
- ◇ 洗浄剤、殺菌性洗浄剤はつぎのものをご使用ください。

市 販 の 洗 浄 剤	市販の殺菌性洗浄剤
食器洗い用の中性洗剤	ピューラックスーS クリンロンS2 など

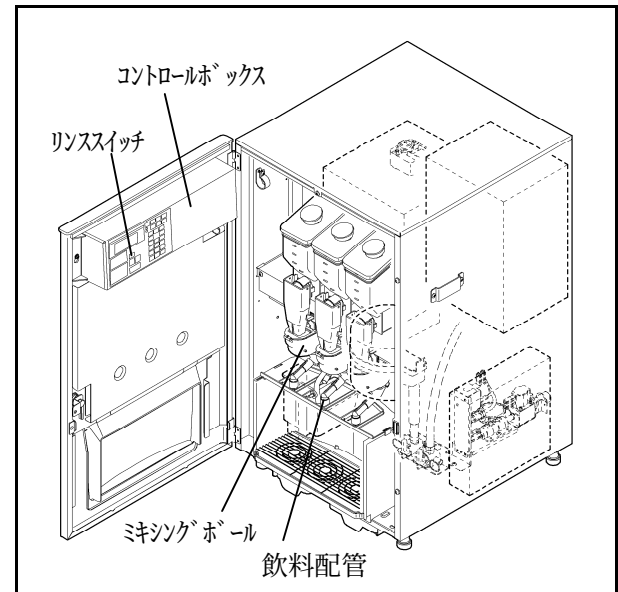


毎日のお手入れ

(1) 飲料回路

- ① コントロールボックスのリンスイッチを2秒間以上押してください。
- ② 湯リンスにてミキシングボールラインの飲料回路を洗浄してください。

[!] 清掃を怠りますと廃液の悪臭が販売飲料に移ったり、カビが発生することがありますので、常に清潔にしてください。



(2) 排水皿, 排水バケツ

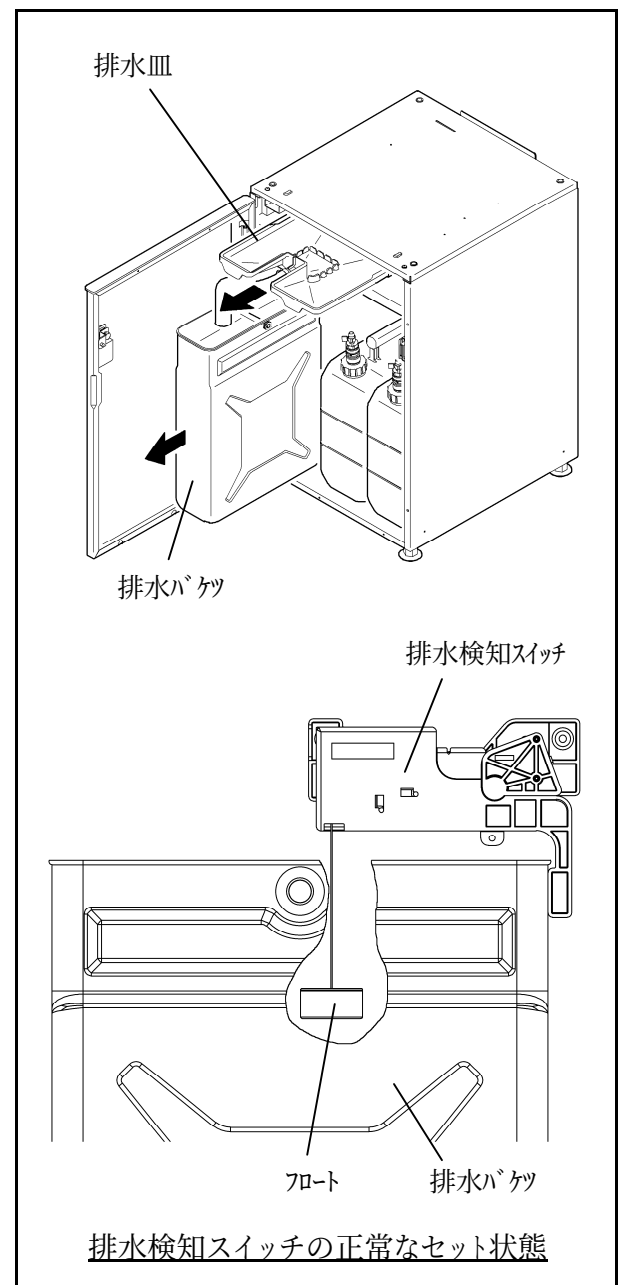
- ① 排水検知スイッチのフロートを外してください。
- ② 排水皿, 排水バケツを外に取り出して、廃液を捨ててください。
- ③ 排水皿, 排水バケツを水道水にて水洗いします。
- ④ 排水皿, 排水バケツを元の場所に戻し、必ず排水検知スイッチのフロートの中に入れてください。

[!] 清掃を怠りますと廃液の悪臭が販売飲料に移ったり、カビが発生することがありますので、常に清潔にしてください。

[!] 廃液がこぼれますので排水皿や排水バケツは抽出排水中に抜かないでください。

[!] 排水バケツを取り出す際に排水検知スイッチのフロートのひもを引っ張らないようにしてください。故障の原因となります。

[!] 排水バケツを元の場所に戻した際に排水検知スイッチが正常なセット状態になっているか確認してください。

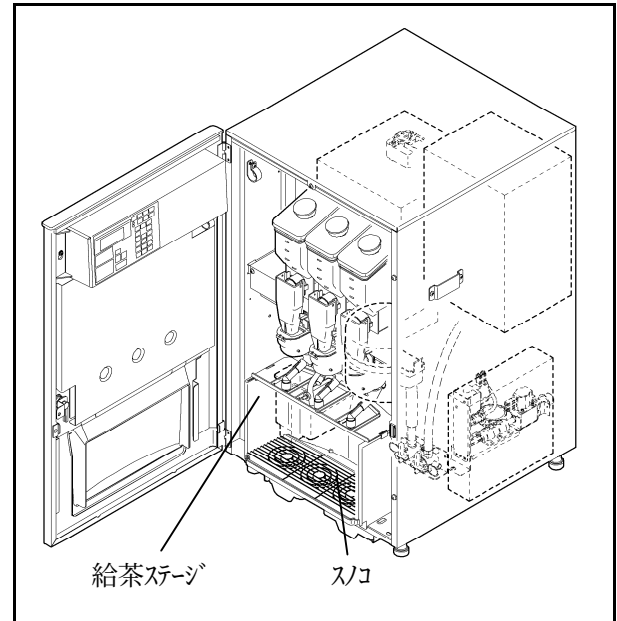


毎日のお手入れ

(3)給茶ステージ

- ① 扉を開けて給茶ステージ、スノコを取り出します。
- ② 水道水にてきれいに水洗いをしてください。
- ③ 乾いた布で水分をよく拭き取ります。

[!] 清掃を怠りますと廃液の悪臭が販売飲料に移ったり、カビが発生することがありますので、常に清潔にしてください。



(4)本体の内外部の汚れ

- ① 内部の原料こぼれ、内外部の汚れがあれば、湯を含ませた布でよく拭き取ります。

[!] 湯や水が電気部品やリード線カプラ部にかからないよう注意してください。

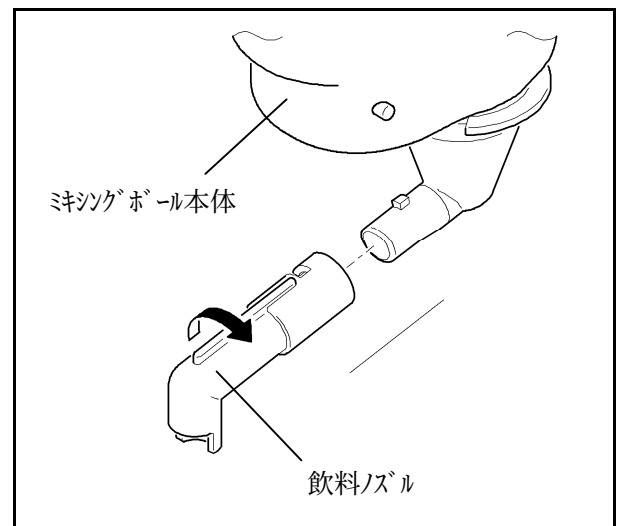
- ② その後、乾いた布で水分を拭き取ります。

◇ 汚れがひどいときは、ぬるま湯か水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布で拭いてください。

毎週のお手入れ

(1)飲料ノズル(飲料1～3, 湯／冷水)

- ① 飲料ノズルを時計方向に回して、手前に引き抜いてください。
- ② 飲料ノズルをブラシを使ってきれいに水洗いしてください。

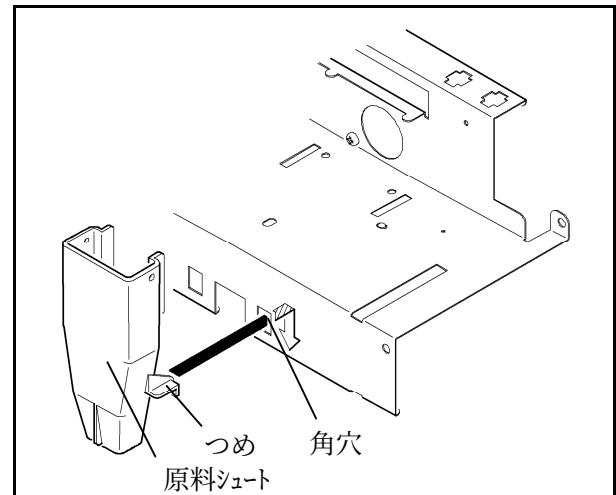


毎週のお手入れ

(2)原料シュート

- ① 原料シュートを、少し上に持ち上げながら角穴よりつめをはずします。
- ② 取り出した原料シュートを水道水にて洗浄します。
- ③ 水分を乾いた布でよく拭き取り、充分乾燥させます。

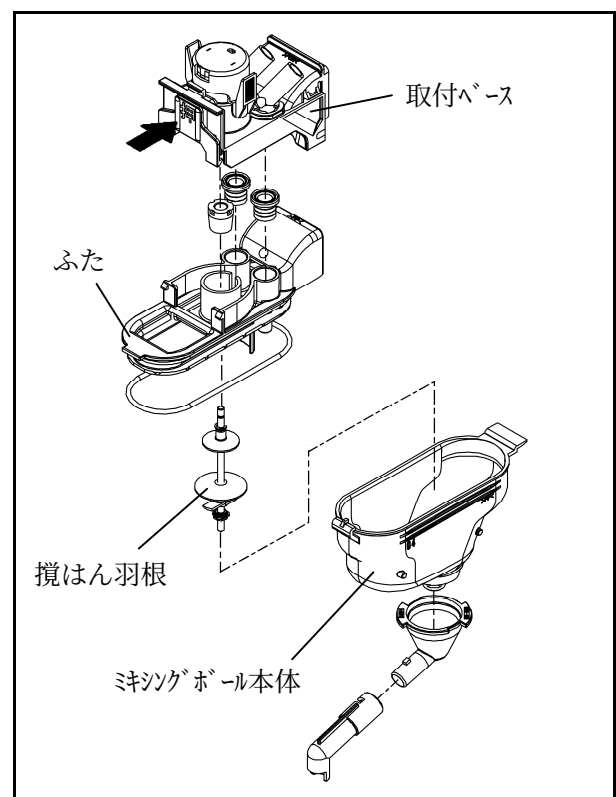
[!] ぬれたままの原料シュートを使用すると、原料が吸湿・固着して原料づまりの原因となります。



(3)ミキシングボール

[!] 訪問時には「リンス」キーにてミキシングボールの清掃を行ってください。

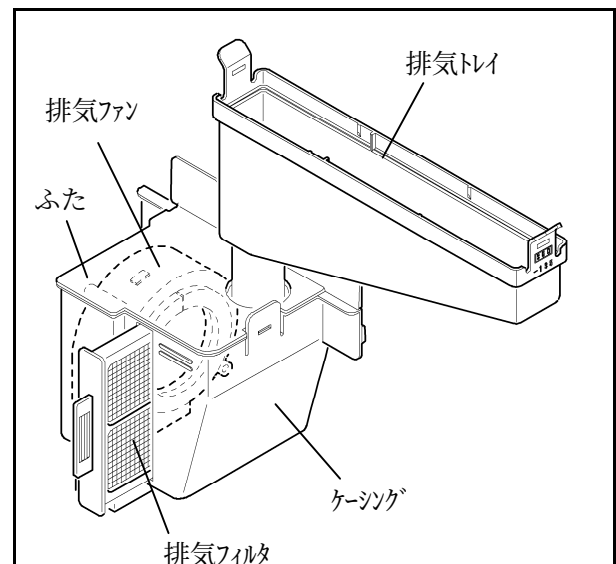
- ① 原料シュートをはずします。
- ② キャニスタのキャップを吐出部に取り付けます。
- ③ 取付けベースのレバー（緑色）を押します。
- ④ ミキシングボールを下に取りはずします。
- ⑤ ミキシングボール本体よりふた、攪はん羽根を取りはずし、水道水にてきれいに洗浄します。



(4)排気ファンのフィルタ

- ① 排気フィルタ（緑色）を前方へ引き抜きます。
- ② 排気フィルタを、水道水にて水洗いします。
- ③ 水切をしてよく乾燥させてから取り付けてください。

[!] 排気フィルタを長時間洗浄せずに放置すると原料の固着により目詰まりして、排気が出来なくなります。



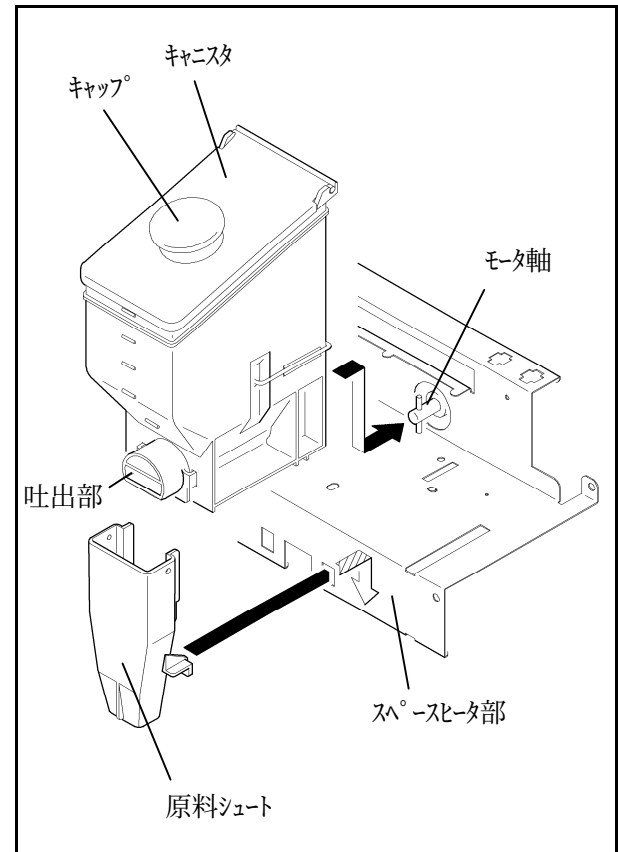
1か月毎のお手入れ

(1) キャニスタ

[!] スペースヒータ部は高温のため、やけどにご注意ください。

- ① 原料シュートを取りはずします。
- ② キャップをはずし、吐出部に取り付けます。
- ③ キャニスタを手前に引き出します。
- ④ 中の原料を清潔な原料袋に移します。
- ⑤ 基本的な洗浄殺菌の手順に従い洗浄してください。
- ⑥ 乾いた布で水分を拭き取り、よく乾燥させます。
- ⑦ キャニスタを元の位置にセットする際、ヨークとモータの軸のピンを合わせて確実に奥まで入れます。

[!] キャニスタがぬれたままで原料を投入すると、原料が吸湿・固化しますのでご注意ください。



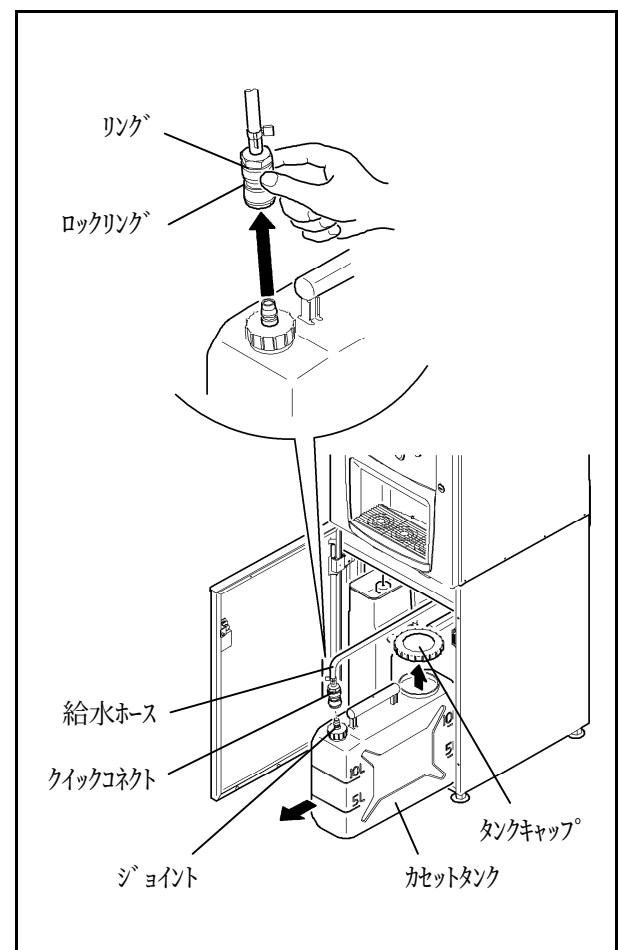
(2) カセットタンク

- ① クイックコネクトのリングを上引き上げてから給水ホースをはずします。

[!] ロックリングの凸部がクイックコネクトの凹部に合う位置まで回してください。ずれているとはずれません。

- ② カセットタンクを引き出します。
- ③ タンクキャップを取り、中の水を全て排出してください。
- ④ カセットタンクの内外面を水で洗います。
- ⑤ カセットタンク内に洗浄液を一杯に満たし、10分程放置します。
- ⑥ 充分水洗いを行ってください。

[!] カセットタンクは2個とも水を入れてください。1個空の状態ですと販売量バラツキの原因となります。



1か月毎のお手入れ

(3)温水タンク

- ① 電源を切ります。
- ② 排水コック（温水タンク）を右へ90°廻して、温水タンク内の湯を全部排出します。
- ③ 電源を入れて、[給水]キーを押して給水します。
- ④ ①～③の操作を2～3回繰り返してください。

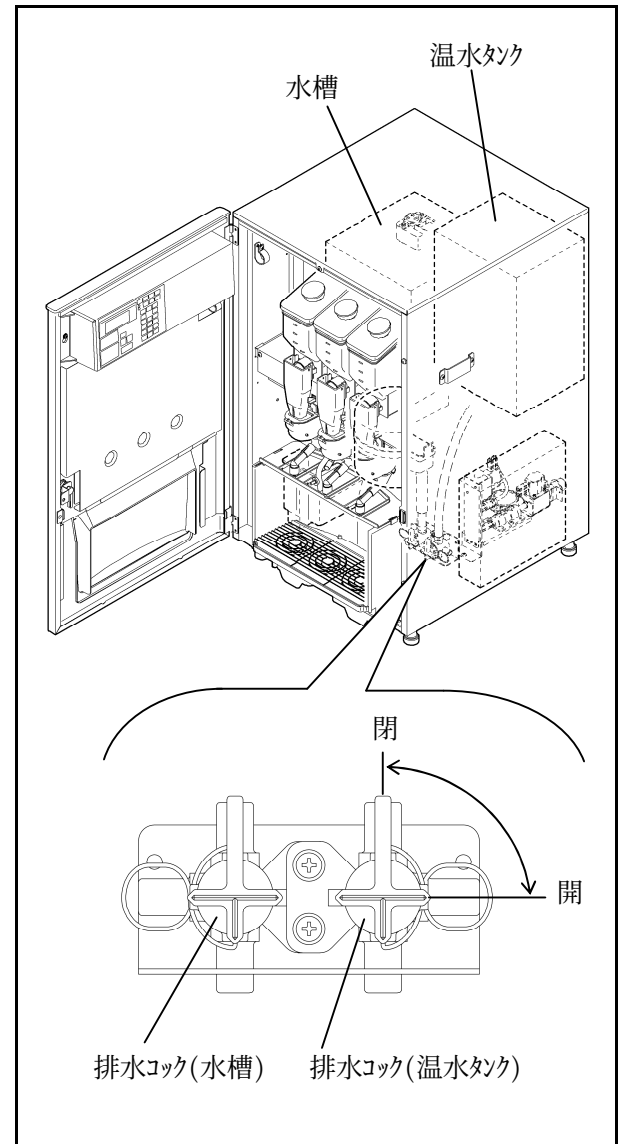
[!] 水質が悪くて付着物が多い場合は、1年に1回以上温水タンク内の付着物を取り除き充分水洗いしてください。

[!] 排水される場合は、排水皿・排水容器または排水バケツから水があふれさせないようにご注意ください。

[!] 湯を排水するときは、熱湯が出ますのでご注意ください。

[!] 温水タンクの湯は毎日ご使用される場合、1週間に1度排水してください。
2日以上ご使用にならない場合は、必ず一度排水してからお使いください。

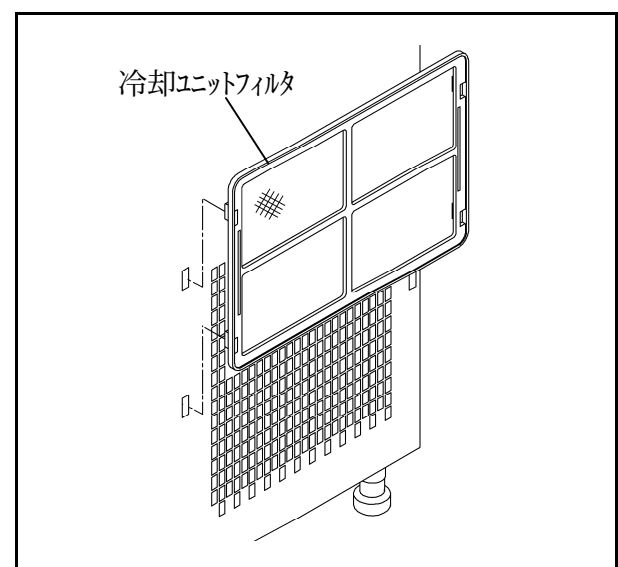
[!] 温水タンクの排水コックは、お湯が通るため熱いので、取扱いに注意してください。



(4)冷却ユニットフィルタ

- ① 本機背面の冷却ユニットフィルタを取りはずしてください。
- ② フィルタをきれいに水洗いしてください。
- ③ 乾いた布で水分をよくふき取ってください。

[!] 冷却ユニットフィルタが目づまりしてくると冷却能力を落としますので定期的に清掃してください。



1か月毎のお手入れ

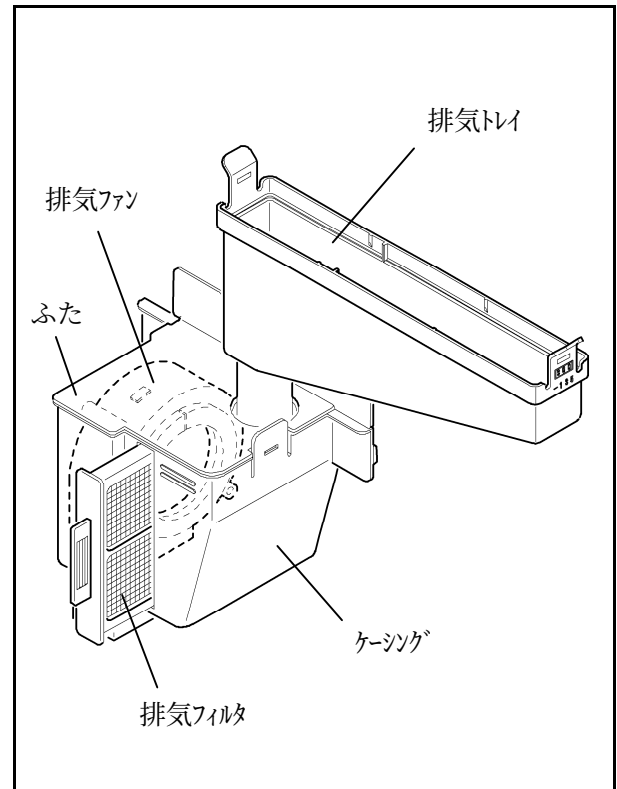
(5)排気トレイ

- ① 排気トレイを取りはずします。
- ② 水道水にて水洗いします。
- ③ 汚れのひどいときはぬるま湯を使用し、ブラシにて汚れを落とします。

[!] 排気トレイを長時間洗浄せずに放置すると原料固着などによる目づまりが生じ、排気できなくなります。

(6)排気ファン

- ① 漏電しゃ断器をOFFします。
- ② 排気トレイを取りはずしてください。
- ③ 排気ファンのふたをはずします。
- ④ 排気ファンのふたとケーシングの内側を湯を含ませた布で拭き取ります。



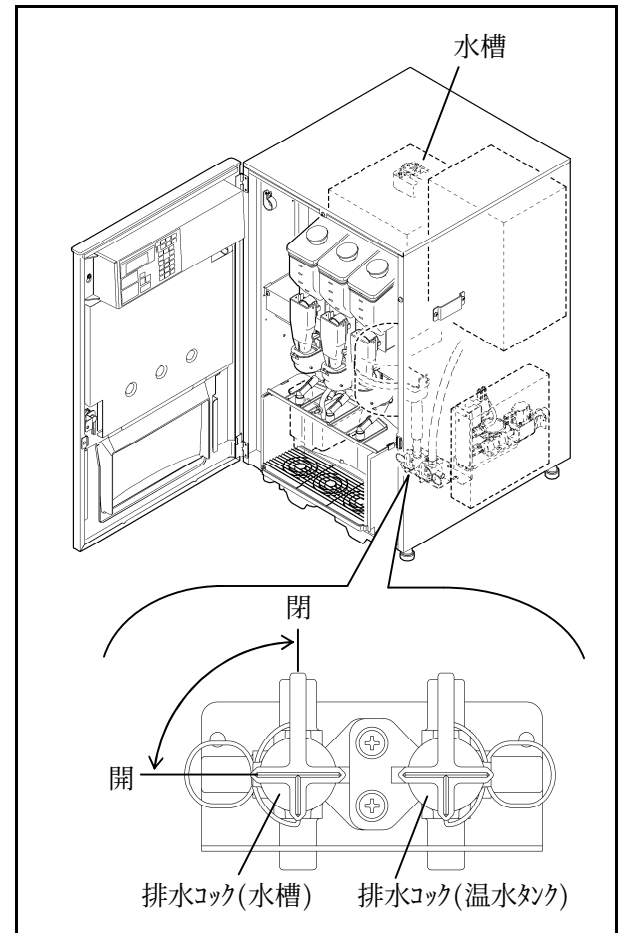
6か月毎のお手入れ

(1) 水槽

- ① 電源を切ってください。
- ② 排水コック(水槽)を左へ90°廻して、水槽内の水を全部排出してください。
- ③ 電源を入れて[給水]キーを押して給水します。
- ④ ①～③の操作を2～3回繰り返してください。

[!] 水質が悪くて付着物が多い場合は、1年に1回以上水槽内の付着物を取り除き充分水洗いしてください。

[!] 排水される場合は、排水皿・排水容器または排水タンクから水があふれさせないようにご注意ください。

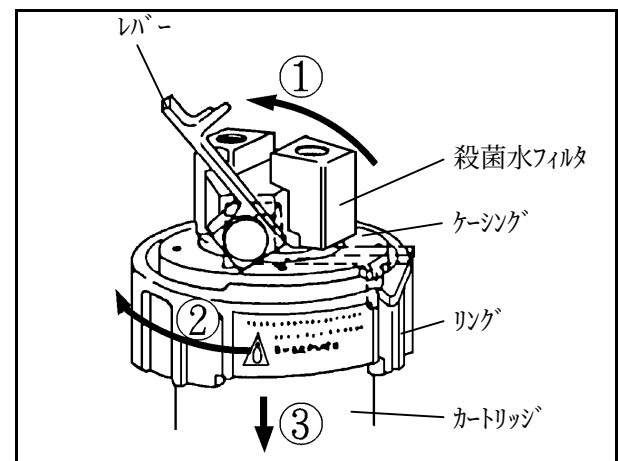


(2) 殺菌水フィルタ

殺菌水フィルタは1年に1回以上、または3000Lの使用を目安につぎの手順にて交換します。

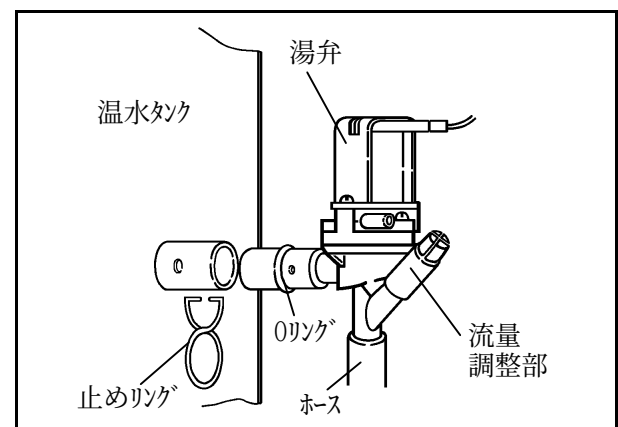
- ① ケーシングのレバーを上になげます。
- ② ケーシングのリングを左に廻し、カートリッジを取り外します。
- ③ ①、②の逆手順でカートリッジを取り付けます。

[!] カートリッジを交換する際に水が多少こぼれます。ご注意ください。



(3) 湯弁

- ① 水・湯あかなどが弁に付着すると、湯量のバラツキや内部リークの発生原因となります。水質の悪い場合は、弁を分解洗浄してください。



販売を長期間停止する場合

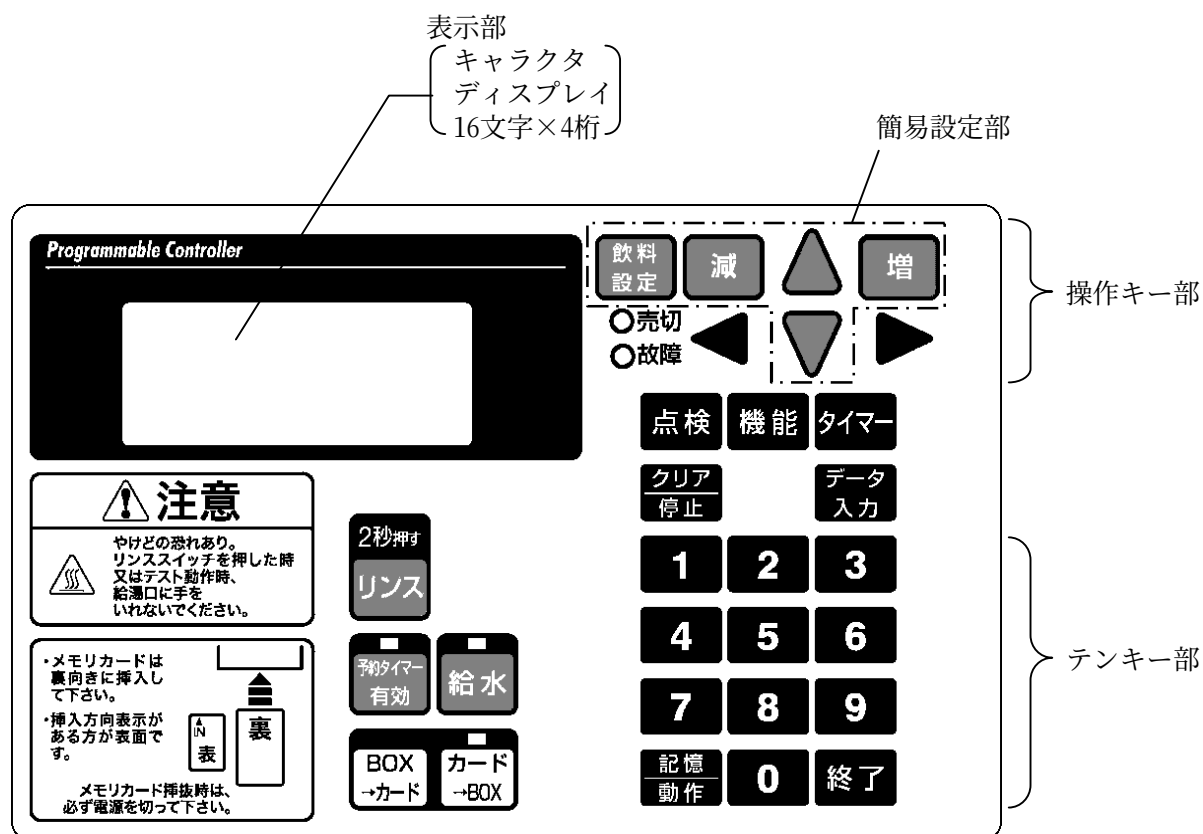
- ① 「毎日のお手入れ」～「6 か月毎のお手入れ」までのすべてについて行ってください。
- ② 粉原料，水は機械内から抜いてください。
- ③ 洗浄・殺菌終了後，本体内・外部とも充分乾燥させてください。
- ④ ビニールカバーなどを本体にかけます。



6. キーボード

キーボードの外観

キーボードはデータ表示器と各種キー（操作キー、テンキー）で構成されています。



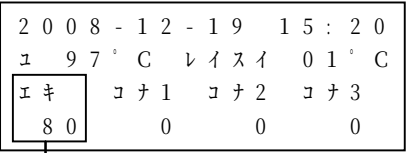
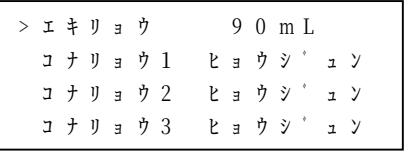
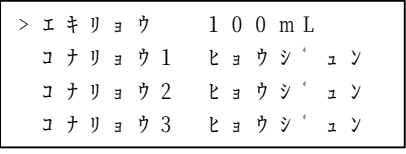
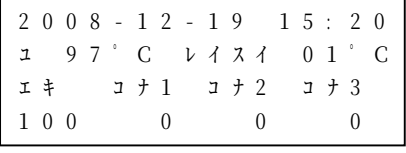
簡易設定のしかた

(1)液量設定

簡易設定にて全飲料の液量を一律で簡単に切換えることができます。標準データは90mLです。

◆ 液量を90mL→100mLに変更する場合

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	待機状態	 → 待機画面でこのデータが表示されている時、簡易設定ができます。 表示されていない場合は[機能]11で「カンセツインジカウ」に設定してください。	
2	飲料設定 キーを押す		
3	増 キーを100mLになるまで押す		
4	飲料設定 キーを押して待機状態に戻す		

[!] [機能]10「原料吐出比例有効／無効設定」が「有効」(標準データ)になっているときに本設定を行いますと変更した液量に比例して飲料の濃さが一定になるように原料量も自動的に変更されます。

「無効」に設定されている場合は液量のみ変更しますが、原料量はそのままです。

簡易設定のしかた

(2)原料増減量設定

簡易設定にて[機能]01～06で設定している原料量を使って簡単に吐出量を切換えることができます。

◆ 原料1の増減量設定を標準→+20%増に設定する場合

■ 反転文字：カーソル点滅

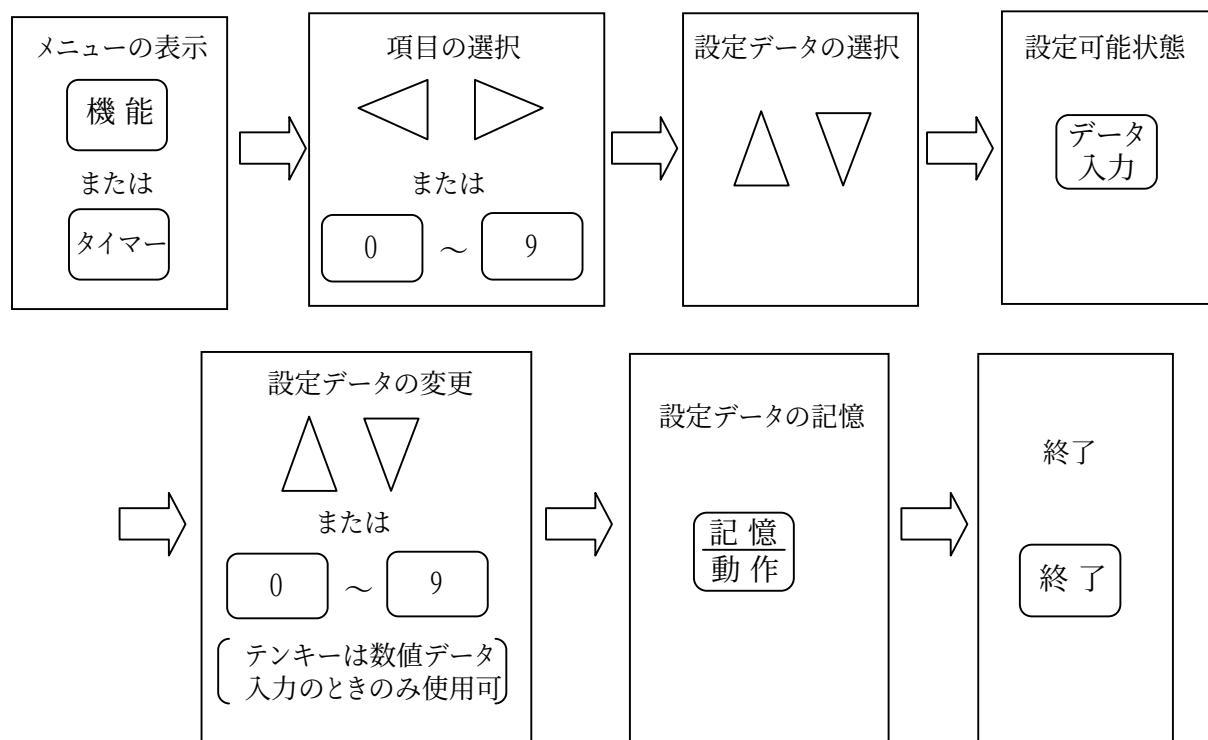
No	操 作	液 晶 表 示	動 作												
1	飲料 設定 キーを押す	> エキリョウ 9 0 m L コナリョウ1 ヒョウシ' ユン コナリョウ2 ヒョウシ' ユン コナリョウ3 ヒョウシ' ユン													
2	▽ キーを押す	エキリョウ 9 0 m L > コナリョウ1 ヒョウシ' ユン コナリョウ2 ヒョウシ' ユン コナリョウ3 ヒョウシ' ユン													
3	増 キーを「20%増」 になるまで押す	エキリョウ 9 0 m L > コナリョウ1 2 0 % ソ' ウ コナリョウ2 ヒョウシ' ユン コナリョウ3 ヒョウシ' ユン	• [機能] 0 1 ～ 0 6 で設定された原料 量に対して下記割合(固定)にて増減 を行います。 <table><tr><th>画 面 表 示</th><th>増 減 量</th></tr><tr><td>1 0 % ゲ' ン</td><td>－ 1 0 %</td></tr><tr><td>ヒョウシ' ユン</td><td>0 %</td></tr><tr><td>1 0 % ソ' ウ</td><td>＋ 1 0 %</td></tr><tr><td>2 0 % ソ' ウ</td><td>＋ 2 0 %</td></tr><tr><td>3 0 % ソ' ウ</td><td>＋ 3 0 %</td></tr></table>	画 面 表 示	増 減 量	1 0 % ゲ' ン	－ 1 0 %	ヒョウシ' ユン	0 %	1 0 % ソ' ウ	＋ 1 0 %	2 0 % ソ' ウ	＋ 2 0 %	3 0 % ソ' ウ	＋ 3 0 %
画 面 表 示	増 減 量														
1 0 % ゲ' ン	－ 1 0 %														
ヒョウシ' ユン	0 %														
1 0 % ソ' ウ	＋ 1 0 %														
2 0 % ソ' ウ	＋ 2 0 %														
3 0 % ソ' ウ	＋ 3 0 %														
4	飲料 設定 キーを押して 待機状態に戻す	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ユ 9 7 ° C レイスイ 0 1 ° C エキ コナ1 コナ2 コナ3 8 0 + 2 0 0 0													

・原料の標準量は[機能]10：「原料吐出比例有効／無効設定」により下記のように異なります。

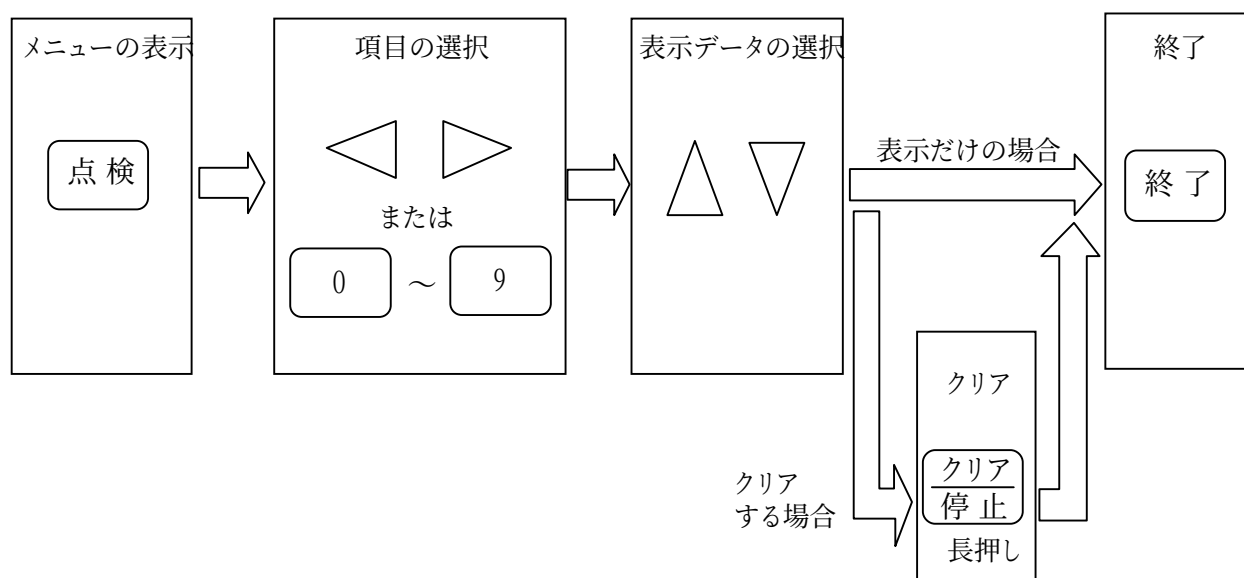
[機能]10設定	原 料 の 標 準 量 の 考 え 方
有効設定	$[機能]01 \sim 06 : 「原料量」 \times \frac{[機能]01 \sim 06 : 「液量」 \text{もしくは} \text{簡易設定} : 「液量」}{[機能]08 : 単位液量}$
無効設定	[機能]01～06：「原料量」

キーの基本操作

【機能・タイマーキー設定・表示】

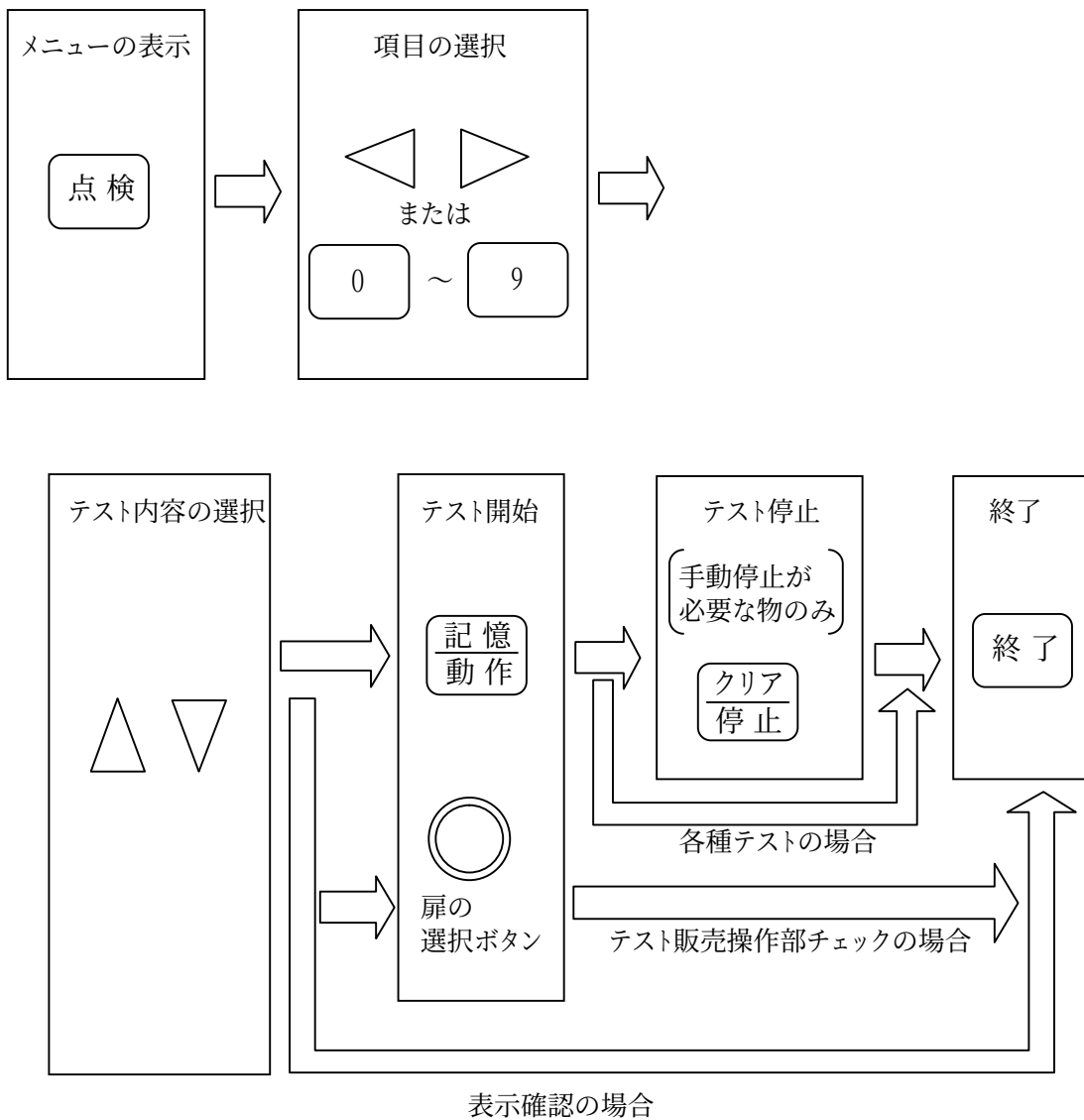


【点検キーの表示・クリア】

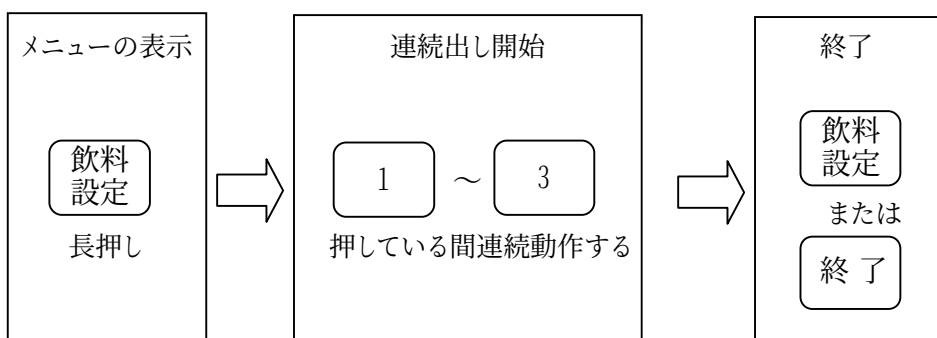


キーの基本操作

【各種テスト・表示】



【原料連続出しモード】



設定項目と標準データ

BHK370T, BHK370S, BHK370SB, BHK370C

飲料
設定

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
ー 簡単飲料設定	液量(mL) 粉1増減割合(%) 粉2増減割合(%) 粉3増減割合(%)	80 0 0 0	80~200 -10, 0, +10, +20, +30 -10, 0, +10, +20, +30 -10, 0, +10, +20, +30	長押し 原料連続出し	ー	ー	ー

タイマー

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
01 現在時刻設定	年 月 日 曜日 時 分	2008 00 00 SUN 00 00	2000~2099 01~12 01~31 ー 00~23 00~59	12 オートリンス曜日別 設定(日)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
02 週間予約設定 (毎日)	予約機能 有効/無効 時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了) 時間外ヒータ制御 運転温度	ムコウ 有効 99 00 99 00 ティン 68	ユウコウ ムコウ 00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59 ティン, ウンテン 68~96	13 オートリンス曜日別 設定(月)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
03 曜日別週間 予約設定 (日)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	14 オートリンス曜日別 設定(火)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
04 曜日別週間 予約設定 (月)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	15 オートリンス曜日別 設定(水)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
05 曜日別週間 予約設定 (火)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	16 オートリンス曜日別 設定(木)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
06 曜日別週間 予約設定 (水)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	17 オートリンス曜日別 設定(金)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
07 曜日別週間 予約設定 (木)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	18 オートリンス曜日別 設定(土)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
08 曜日別週間 予約設定 (金)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	27 排気フィルタ アラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム杯数	ー ー ー ムコウ 1000	ー ー ー ユウコウ, ムコウ 00~9999
09 曜日別週間 予約設定 (土)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	28 水フィルタアラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム方式 アラーム日数 アラーム流量	ー ー ー ユウコウ ニックス 365 3000	ー ー ー ユウコウ, ムコウ ニックス, リュウリョウ, ハイヨウ 0~999 0~9999
10 オートリンス設定 (毎日)	時(1回目) 分(1回目) 時(2回目) 分(2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59	29 水槽水アラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム日数	ー ー ー ムコウ 365	ー ー ー ユウコウ, ムコウ 0~999
				30 冷却ユニット フィルタアラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム日数	ー ー ー ムコウ 365	ー ー ー ユウコウ, ムコウ 0~999

設定項目と標準データ

BHK370T, BHK370S, BHK370SB, BHK370C

機能

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
08 単位液量設定	原料1の液量 原料2の液量 原料3の液量	80 80 90	80～140 80～140 80～140	16 適温設定	湯適温 冷水適温	75 5	2～96 2～96
10 原料吐出比例 有効／無効設定	機能	ユウコウ	ユウコウ ムコウ	17 冷水機運転 設定	冷水機運転	ウンテン	ウンテン, テイシ, シュウカンヨキクト'ウキ
11 液量設定 切換え	機能	カンイ セッテイニ シタカ'ウ	カンイセッテイニシタカ'ウ テンキーセッテイニシタカ'ウ	18 リンス設定	リンス湯量 オートリンス開始 パターン 粉系飲料販売数	140 オート リンス 50	30～160 オートリンス,シュウカンヨキ, ハイスウ+オートリンス, ハイスウ+シュウカン,ムコウ 1～99
12 飲みごろ温 有効／無効 設定	機能	ユウコウ	ユウコウ ムコウ	26 同時販売	同時販売	ドウジ' ハンハイ カノウ	ドウジ'ハンハイカノウ ドウジ'ハンハイキンシ
13 販売釐／複数 杯販売設定	HOT1 HOT2 HOT3 COLD1 COLD2 COLD3 お湯 冷水	1 1 1 1 1 1 ユウコウ ユウコウ	0～9 0～9 0～9 0～9 0～9 0～9 ユウコウ, ムコウ ユウコウ, ムコウ	27 給水方式設定	給水方式	カセット	カセット スイッチ
14 非適温時, 販売可／ 不可設定	HOT飲料 COLD飲料	ヒテキオン OK ヒテキオン OK	ヒテキオンNG ヒテキオンOK ヒテキオンNG ヒテキオンOK	36 お湯ボタン 設定	機能 定量時湯量	レンゾク 40	レンゾク, テイリョウ 0, 20～210
15 温調温度設定	湯タンク温度	96	80～96	37 冷水ボタン 設定	機能 定量時冷水量	レンゾク 40	レンゾク, テイリョウ 0, 20～210
				91 コインメック 有り/無し設定	コインメック有り/無し メックナシ	コイン メックナシ	コインメックアリ, コインメックナシ
				99 販売価格設定	HOT1価格 HOT2価格 HOT3価格 COLD1価格 COLD2価格 COLD3価格	50 50 50 50 50 50	0～990 0～990 0～990 0～990 0～990 0～990

点 検

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
01 現在の売切れ	—	—	—	06 操作部チェック	—	—	—
02 現在の故障	—	—	—	07 出力動作チェック	—	—	—
03 累計トータル 杯数カウンタ	—	—	—	08 過去の故障	—	—	—
04 期間トータル 杯数カウンタ	—	—	—	09 入力テスト	—	—	—
05 期間販売杯数 カウンタ	—	—	—	10 連続出しテスト	—	—	—
				90 プログラム情報 表示	—	—	—

設定項目と標準データ

BHK270T, BHK270S, BHK270SB, BHK270C

飲料
設定

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
ー 簡単飲料設定	液量(mL) 粉1増減割合(%) 粉2増減割合(%)	80 0 0	80~200 -10, 0, +10, +20, +30 -10, 0, +10, +20, +30	長押し 原料連続出し	ー	ー	ー

タイマー

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
01 現在時刻設定	年 月 日 曜日 時 分	2008 00 00 SUN 00 00	2000~2099 01~12 01~31 ー 00~23 00~59	12 オートリンス曜日別 設定(日)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
02 週間予約設定 (毎日)	予約機能 有効/無効 時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了) 時間外ヒータ制御 運転温度	ムコウ 99 00 99 00 ティシ 68	ユウコウ ムコウ 00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59 ティシ, ウンテン 68~96	13 オートリンス曜日別 設定(月)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
03 曜日別週間 予約設定 (日)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	14 オートリンス曜日別 設定(火)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
04 曜日別週間 予約設定 (月)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	15 オートリンス曜日別 設定(水)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
05 曜日別週間 予約設定 (火)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	16 オートリンス曜日別 設定(木)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
06 曜日別週間 予約設定 (水)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	17 オートリンス曜日別 設定(金)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
07 曜日別週間 予約設定 (木)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	18 オートリンス曜日別 設定(土)	時(リンス1回目) 分(リンス1回目) 時(リンス2回目) 分(リンス2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59
08 曜日別週間 予約設定 (金)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	27 排気フィルタ アラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム杯数	ー ー ー ムコウ 1000	ー ー ー ユウコウ, ムコウ 00~9999
09 曜日別週間 予約設定 (土)	時(開始) 分(開始) 時(終了) 分(終了)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~24, 99 00~59	28 水フィルタアラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム方式 アラーム日数 アラーム流量	ー ー ー ユウコウ ニッスウ 365 3000	ー ー ー ユウコウ, ムコウ ニッスウ, ユウリョウ, ハイヨウ 0~999 0~9999
10 オートリンス設定 (毎日)	時(1回目) 分(1回目) 時(2回目) 分(2回目)	99 00 99 00	00~23, 99 00~59 00~23, 99 00~59	29 水槽水アラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム日数	ー ー ー ムコウ 365	ー ー ー ユウコウ, ムコウ 0~999
				30 冷却ユニット フィルタアラーム	年 月 日 アラーム機能 アラーム日数	ー ー ー ムコウ 365	ー ー ー ユウコウ, ムコウ 0~999

設定項目と標準データ

BHK270T, BHK270S, BHK270SB, BHK270C

機能

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
08 単位液量設定	原料1の液量	80	80～140	16 適温設定	湯適温	75	2～96
	原料2の液量	80	80～140		冷水適温	5	2～96
10 原料吐出比例 有効／ 無効設定	機能	ユウコウ ムコウ		17 冷水機運転 設定	冷水機運転	ウンテン	ウンテン, ティシ, シュウカンヨキクト'ウキ
11 液量設定 切換え	機能	カンイ セッテイニ シタカ'ウ	カンイセッテイニシタカ'ウ テンキーセッテイニシタカ'ウ	18 リンス設定	リンス湯量 オートリンス開始 パターン	140 オート リンス	30～160 オートリンス,シュウカンヨキ, ハイスウ+オートリンス, ハイスウ+シュウカン,ムコウ
12 飲みごろ温 有効／無効 設定	機能	ユウコウ ムコウ	ユウコウ ムコウ		粉系飲料販売数	50	1～99
13 販売釐／複数 杯販売設定	HOT1 HOT2 COLD1 COLD2 お湯 冷水	1 1 1 1 ユウコウ ユウコウ	0～9 0～9 0～9 0～9 ユウコウ, ムコウ ユウコウ, ムコウ	26 同時販売	同時販売	ドウジ' ハンハイ カノウ	ドウジ'ハンハイカノウ ドウジ'ハンハイキンシ
14 非適温時, 販売可／ 不可設定	HOT飲料 COLD飲料	ヒテキオン OK ヒテキオン OK	ヒテキオンNG ヒテキオンOK ヒテキオンNG ヒテキオンOK	27 給水方式設定	給水方式	カセット	カセット スイッチ
15 温調温度設定	湯タンク温度	96	80～96	36 お湯ボタン 設定	機能 定量時湯量	レンゾク 40	レンゾク, ティリョウ 0, 20～210
				37 冷水ボタン 設定	機能 定量時冷水量	レンゾク 40	レンゾク, ティリョウ 0, 20～210
				91 コインメック 有り/無し設定	コインメック有り/無し	コイン メックナシ	コインメックアリ, コインメックナシ
				99 販売価格設定	HOT1価格 HOT2価格 COLD1価格 COLD2価格	50 50 50 50	0～990 0～990 0～990 0～990

点 検

項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考	項目№及び項目名	種 類	標 準 データ	備 考
01 現在の売切れ	—	—	—	06 操作部チェック	—	—	—
02 現在の故障	—	—	—	07 出力動作チェック	—	—	—
03 累計トータル 杯数カウンタ	—	—	—	08 過去の故障	—	—	—
04 期間トータル 杯数カウンタ	—	—	—	09 入力テスト	—	—	—
05 期間販売杯数 カウンタ	—	—	—	10 連続出しテスト	—	—	—
				90 プログラム情報 表示	—	—	—

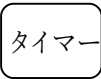
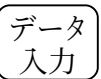
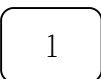
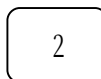
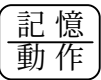
キーボードの操作方法

(1) 現在時刻の設定

現在時刻設定を行う必要があります。次の手順で設定を実施してください。

◆ 2008年12月19日午後3時20分に設定する場合

■ 反転文字：カーソル点滅

№	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	 キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 00 - 00 SUN 00:00 オワリ	
2	 キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 8 - 00 - 00 SUN 00:00 オワリ	・設定値が点滅し、設定モードになります。
3	 キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 0 0 - 00 SUN 00:00 オワリ	
4	  キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 1 2 - 00 SUN 00:00 オワリ	
5	 キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 12 - 0 0 SUN 00:00 オワリ	
6	  キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 12 - 1 9 FRI 00:00 オワリ	・年、月、日、曜日が入力されます。
7	 キーを押す	01) シ' コクセッテイ > 2008 - 12 - 19 FRI 00:00 オワリ	・設定値を記憶します。 ・設定値の点滅は無くなり、項目移動モードになります。
8	 キーを押す	01) シ' コクセッテイ 2008 - 12 - 19 FRI > 00:00 オワリ	

キーボードの操作方法

(1) 現在時刻の設定(つづき)

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
9	データ 入力 キーを押す	0 1) シ ° コ ク セ ッ テ イ 2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 F R I > 0 0 : 0 0 オ ヲ リ	・設定値が点滅し、設定モードになります。
10	1 5 キーを押す	0 1) シ ° コ ク セ ッ テ イ 2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 F R I > 1 5 : 0 0 オ ヲ リ	
11	▶ キーを押す	0 1) シ ° コ ク セ ッ テ イ 2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 F R I > 1 5 : 0 0 オ ヲ リ	
12	2 0 キーを押す	0 1) シ ° コ ク セ ッ テ イ 2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 F R I > 1 5 : 2 0 オ ヲ リ	・時，分が入力されます。
13	記憶 動作 キーを押す	0 1) シ ° コ ク セ ッ テ イ 2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 F R I > 1 5 : 2 0 オ ヲ リ	・設定値を記憶します。 ・設定値の点滅は無くなり，項目移動モードになります。
14	終了 キーを押し， 待機状態に戻す	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ュ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C エ キ コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 8 0 0 0 0 2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ュ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 0 0 0	<待機画面の各種表示項目> ([機能] 1 1 液量簡易設定時) ←[タイマ]01で設定した現在時刻を表示 ←現在の湯温／冷水温を表示 ←簡易設定内容を表示 ([機能] 1 1 液量テンキー設定時)

キーボードの操作方法

(2)オートリンス設定のしかた

[タイマ]10, 12～18にてオートリンス設定を行うことができます。

- ・[タイマ]10……………オートリンス設定 毎日
- ・[タイマ]12～18……………オートリンス設定 日曜日～土曜日

◆ オートリンスを毎週月曜日1回 8:30から開始する場合

■ 反転文字：カーソル点滅

№	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	タイマー 1 3 キーを押す	13) オートリンス ケ' ッヨウ > リンス1 カイメ 99:00 リンス2 カイメ 99:00 オワリ	
2	データ 入力 キーを押す	13) オートリンス ケ' ッヨウ > リンス1 カイメ 9 [■] 9:00 リンス2 カイメ 99:00 オワリ	・設定値が点滅し、設定モードになります。
3	0 8 キーを押す	13) オートリンス ケ' ッヨウ > リンス1 カイメ 0 [■] 8:00 リンス2 カイメ 99:00 オワリ	※1 99:00の時は実行しません。
4	▶ キーを押す	13) オートリンス ケ' ッヨウ > リンス1 カイメ 08:0 [■] 0 リンス2 カイメ 99:00 オワリ	
5	3 0 キーを押す	13) オートリンス ケ' ッヨウ > リンス1 カイメ 08:3 [■] 0 リンス2 カイメ 99:00 オワリ	
6	記憶 動作 キーを押す	13) オートリンス ケ' ッヨウ > リンス1 カイメ 08:30 リンス2 カイメ 99:00 オワリ	・開始時間の設定を記憶します。 ・設定値の点滅が無くなり項目移動モードになります。
7	終了 キーを押し、 待機状態に戻す	2008-12-19 15:20 ユ 97'C レイスイ 01'C エキ コナ1 コナ2 コナ3 80 0 0 0	

キーボードの操作方法

(3)液量設定切換え

本設定をテンキー設定に切換えることにより、各飲料毎に液量を設定することが可能になります。

◆ テンキー設定に切換える場合

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	待機状態(簡易設定)	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ュ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C エ キ コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 8 0 0 0 0	
2	機能 1 1 キーを押す	1 1) エ キ リ ョ ウ セ ッ テ イ キ リ カ エ > カ ソ イ セ ッ テ イ ニ シ タ カ ° ウ オ ワ リ	
3	データ 入力 キーを押す	1 1) エ キ リ ョ ウ セ ッ テ イ キ リ カ エ > カ ソ イ セ ッ テ イ ニ シ タ カ ° ウ オ ワ リ	
4	▽ キーを押す (△ でも良い)	1 1) エ キ リ ョ ウ セ ッ テ イ キ リ カ エ > テ ソ キ ー セ ッ テ イ ニ シ タ カ ° ウ オ ワ リ	
5	記憶 動作 キーを押す	1 1) エ キ リ ョ ウ セ ッ テ イ キ リ カ エ > テ ソ キ ー セ ッ テ イ ニ シ タ カ ° ウ オ ワ リ	
6	終了 キーを押し、 待機状態(テンキー設定) に戻す	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ュ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 0 0 0	

キーボードの操作方法

(4)原料調整テスト

◆ 原料2の原料量設定を行う場合

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	機能 0 7 キーを押す	0 7) ケ' ソリョウチョウセイ > ケ' ソリョウ1 22.50g ケ' ソリョウ2 16.50g ケ' ソリョウ3 20.50g	・原料調整テストモードになります。
2	▽ キーを押す	0 7) ケ' ソリョウチョウセイ ケ' ソリョウ1 22.50g > ケ' ソリョウ2 16.50g ケ' ソリョウ3 20.50g	
3	記憶動作 キーを押す	0 7) ケ' ソリョウチョウセイ ケ' ソリョウ1 22.50g > ケ' ソリョウ2 16.50g ケ' ソリョウ3 20.50g	・[記憶/動作]キーを押し、原料量を測定します。 (実測値が17.0gの場合)
4	データ入力 キーを押す	0 7) ケ' ソリョウチョウセイ ケ' ソリョウ1 22.50g > ケ' ソリョウ2 16.50g ケ' ソリョウ3 20.50g	・設定値が点滅し、設定モードになります。
5	1 7 0 0 キーを押す	0 7) ケ' ソリョウチョウセイ ケ' ソリョウ1 22.50g > ケ' ソリョウ2 17.00g ケ' ソリョウ3 20.50g	・実測値を入力します。
6	記憶動作 キーを押す	0 7) ケ' ソリョウチョウセイ ケ' ソリョウ1 22.50g > ケ' ソリョウ2 17.00g ケ' ソリョウ3 20.50g	・設定値を記憶します。
7	終了 キーを押し、 待機状態に戻す	2008-12-19 15:20 ユ 97°C レイスイ 01°C エキ コナ1 コナ2 コナ3 80 0 0 0	

キーボードの操作方法

(5)飲料設定

原料量、液量、飲み頃温度などを設定する操作です。

◆ 原料量を1.25 gに設定する場合

■ 反転文字：カーソル点滅

№	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	機能 キーを押す	0 1) H O T イ ソ リ ョ ウ 0 1 > ケ ' ソ リ ョ ウ リ ョ ウ 0 . 7 0 g エ キ リ ョ ウ 8 0 m L ノ ミ コ ' ロ オ ン 7 0 ° C	・ホット飲料モードになります。
2	データ 入力 キーを押す	0 1) H O T イ ソ リ ョ ウ 0 1 > ケ ' ソ リ ョ ウ リ ョ ウ 0 . 7 0 g エ キ リ ョ ウ 8 0 m L ノ ミ コ ' ロ オ ン 7 0 ° C	・設定値が点滅し、設定モードになります。
3	1 2 5 キーを押す	0 1) H O T イ ソ リ ョ ウ 0 1 > ケ ' ソ リ ョ ウ リ ョ ウ 1 . 2 5 g エ キ リ ョ ウ 8 0 m L ノ ミ コ ' ロ オ ン 7 0 ° C	
4	記憶 動作 キーを押す	0 1) H O T イ ソ リ ョ ウ 0 1 > ケ ' ソ リ ョ ウ リ ョ ウ 1 . 2 5 g エ キ リ ョ ウ 8 0 m L ノ ミ コ ' ロ オ ン 7 0 ° C	・設定値を記憶します。 ・設定値の点滅は無くなり、項目移動モードになります。
5	終了 キーを押し、 待機状態に戻す	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ユ 9 7 ' C レ イ ス イ 0 1 ' C コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 0 0 0	

キーボードの操作方法

(5) 飲料設定 (つづき)

◆ 飲料設定の設定順序とポイント

飲料の設定を変更したりする際には、つぎの手順で行うと後戻りの無い設定がおこなえます。
設定範囲内であれば正しく飲料ができる訳ではありませんので、下記のポイントを参考に設定してください。

順序	作業／設定項目	作 業 / 設 定 ポ イ ン ト
①	原料調整 (原料調整テスト)	●原料種類を変更した際は[機能]07にて原料調整テストを行い、原料を10秒間吐出し、吐出量を測定、入力します。
②	原料量	●[機能]01～06にて一杯分の原料吐出量を設定します。
③	液量	●[機能]01～06にて一杯分の総液量を設定します。
④	かく拌スピード	●[機能]01～06にて攪はん速度を設定します。 ・速い場合：溶け残りは良くなるが、泡が立ちやすい。 ・遅い場合：溶け残りは良くないが、泡が立ちにくい。
⑤	かく拌時間 1	●[機能]01～06にて1回目の攪はん時間を設定します。 ●手順①②で原料の吐出終了のタイミングが決まるのでそれより遅くする。 ・長い場合：ベンドタイムが長くなり、泡が立ちやすくなる。 ・短い場合：1回目の原料吐出中に飲料が出始め、溶けが悪くなる。
⑥	かく拌時間 2	●[機能]01～06にて2回目の攪はん時間を設定します。 ・長い場合：飲料吐出が2回に分かれたり、ベンドタイムが長くなります。 (攪はん中はミキシングボールに飲料が保留される為) ・短い場合：洗浄効果が低い。

キーボードの操作方法

(6)期間販売杯数カウンタ

◆ ホット2飲料の販売杯数を確認したい場合

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	点検 0 5 キーを押す	05) キカンハイスウ 2008-12-19 カラ HOT1 120 ハイ HOT2 100 ハイ	・本項目表示中に[クリア/停止]キーを3秒間長押しするとカウンタがクリアされます。 ・クリアされた年月日を新しい期間開始日として、表示します。
2	▽ キーを押す	05) キカンハイスウ HOT3 92 ハイ COLD1 135 ハイ COLD2 130 ハイ	
3	終了 キーを押し、 待機状態に戻す	2008-12-19 15:20 ユ 97℃ レイスイ 01℃ エキ コナ1 コナ2 コナ3 80 0 0 0	

キーボードの操作方法

(7)原料連続出しテスト

◆ 原料2を連続出しする場合

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	飲料設定 キーを3秒間 長押しする	ケ'ンリョウレンソ'ク ケ'ンリョウNo.ノ スウシ'キーヲ オシテクタ'サイ	
2	2 キーを押し 続ける	ケ'ンリョウレンソ'ク ケ'ンリョウNo.ノ スウシ'キーヲ オシテクタ'サイ	・原料2の連続出しを開始します。
3	2 キーをはなす	ケ'ンリョウレンソ'ク ケ'ンリョウNo.ノ スウシ'キーヲ オシテクタ'サイ	・原料2の連続出しを終了します。
4	終了 キーを押し、 待機状態に戻す	2008-12-19 15:20 ユ97'C レイスイ 01'C エキ コナ1 コナ2 コナ3 80 0 0 0	

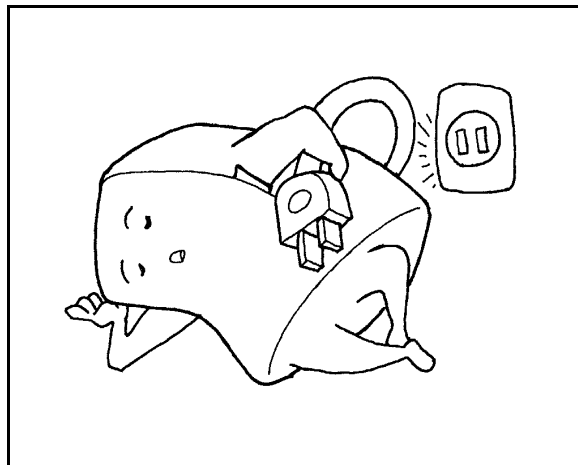
7. 故障診断

まず次のことをご調べいただき、なお調子が悪いときは、必ず電源プラグを抜いてからお買上げ先、またはもよりの当社サービス機関に修理をご依頼ください。

故障と思ったら

(1)電気がきていない

- 電源コンセントに電 …… 停電ではありませんか。
気がきていますか。
- コンセントから電源 …… 電源プラグを差し込ん
プラグが抜けていま てください。
せんか。



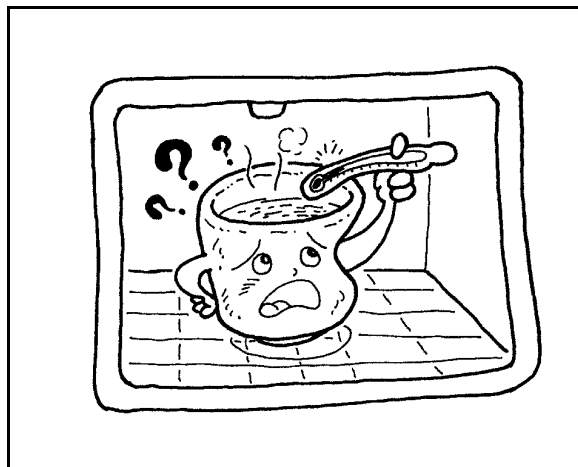
(2)湯が沸かない

- 漏電しゃ断器が「OFF」になっていませんか。
- 予約タイマ動作中で、ヒータが「OFF」状態になっていませんか。
- タンクに水は入っていますか。



(3)湯がぬるい

- 予約タイマ動作中で、ヒータが「OFF」状態になっていませんか。
- 適温設定が正常ですか。
- 湯が多量に抽出されていませんか。



故障と思ったら

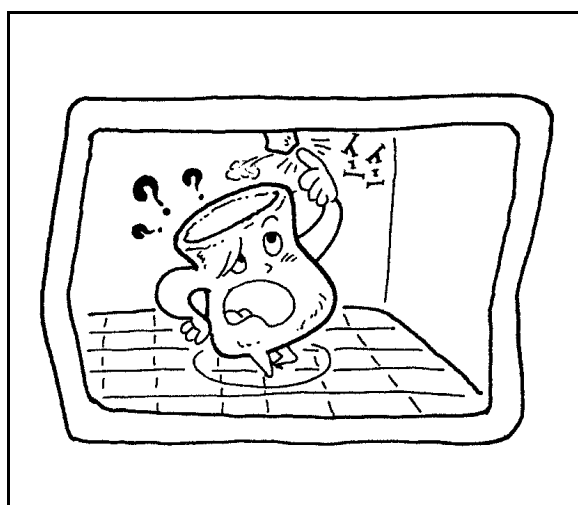
(4)水が冷えない

- 機械の背面の給排気口がふさがっていませんか。
- 冷却ユニットのフィルタが汚れていませんか。
- 直射日光があたったり、近くに発熱器具がありませんか。
- 漏電しゃ断器が「OFF」になっていませんか。
- 冷水が多量に抽出されていませんか。
- 水槽水が少なくありませんか。
(水槽水低水位の場合、点検ランプが点灯します)



(5)お茶が出ない／お湯が出ない

- 排水コックが開いていませんか。
- 断水していませんか。
- カセットタンクが空になっていませんか。
- 給水配管がつながっていますか。
- 漏電しゃ断器が「OFF」になっていませんか。



キーボード操作による故障診断

機械に異常が発生した場合には、速やかな異常原因の発見と処置が必要となります。
本機では、ほとんどの異常をコントロールボックスの液晶表示に表示します。

(1) 売切内容の表示手順

◆ 現在の売切内容を表示させるとき

■ 反転文字：カーソル点滅

№	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	待機状態	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ユ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C エ キ コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 8 0 0 0 0 売切が発生するとキーボードの 売切ランプが点滅します。	
2	点 検 キーを押す 2008年3月20日15時に 水槽水低水位になった ことを示します ▽ キーを押すと つぎへ進む △ キーを押すと 前へ戻る	<売切がない場合> 0 1) ケ ° ソ サ ° イ ノ ウ リ キ レ ウ リ キ レ ナ シ <売切がある場合> 0 1) ケ ° ソ サ ° イ ノ ウ リ キ レ 2 0 0 8 - 0 3 - 2 0 1 5 : 0 0 ス イ ソ ウ ス イ テ イ ス イ <現在の売切内容が全て表示された場合> 0 1) ケ ° ソ サ ° イ ノ ウ リ キ レ オ ワ リ	[点検]キーを押し、現在売切内容の画面を表示します
3	終 了 キーを押し、 待機状態に戻す	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ユ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C エ キ コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 8 0 0 0 0	

キーボード操作による故障診断

(2)故障内容の表示手順

◆ 現在の故障内容を表示させるとき

■ 反転文字：カーソル点滅

No	操 作	液 晶 表 示	動 作
1	待機状態	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ュ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C エ キ コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 8 0 0 0 0 故障が発生するとキーボードの故障ランプが点滅します。	
2	現在の故障が表示されるまで 点 検 キーを2回押す 2008年3月20日15時に沸騰検知があったことを示します ▽ キーを押すとつぎへ進む △ キーを押すと前へ戻る	<故障がない場合> 0 2) ケ ° ソ サ ° イ ノ コ シ ョ ウ コ シ ョ ウ ナ シ <故障がある場合> 0 2) ケ ° ソ サ ° イ ノ コ シ ョ ウ 2 0 0 8 - 0 3 - 2 0 1 5 : 0 0 フ ッ ト ウ ケ ン チ <現在故障内容が全て表示された場合> 0 2) ケ ° ソ サ ° イ ノ コ シ ョ ウ オ ワ リ	[点検]キーを2回押すか、[点検][▷]キーを押す、現在故障内容の画面を表示します
3	終 了 キーを押す、待機状態に戻す	2 0 0 8 - 1 2 - 1 9 1 5 : 2 0 ュ 9 7 ° C レ イ ス イ 0 1 ° C エ キ コ ナ 1 コ ナ 2 コ ナ 3 8 0 0 0 0	

売切No.	売 切 表 示 文 字	売 切 名	売 切 内 容	売 切 条 件	解 除 方 法	点検ランプ 対象
511	ハイスイマンスイ	排水容器満水	・排水容器が満水となっています ・排水容器が正しくセットされていません	・排水スイッチON時 ・排水容器検知スイッチON時	容器の水を捨て、空にします 容器を正しく奥まで入れてセットします	
512	ミズナシ	水無し	給水や販売の際、流量センサに一定 時間水が供給されていません	給水、販売時に3秒間流量セ ンサで水を検知していない時	配管のチェックをし、給水されるよう にします	
515	ユタンクテイスイ	温水タンク低水位	温水タンク内の水が少なくなっています	温水タンク低水位スイッチON時	配管のチェックをし、温水タンクに水が 入るようにします	△
521	スイソウスイコウオン	冷水温度売切れ (注2)	冷水温度が高くなっています	[機能]16の「適温設定」の冷水適 温の設定値以上になっている時	冷水MCのチェックをしてください MCが正常ならば、冷水温度が下がる まで待ってください	
522	ユタンクテイオン	湯温度売切れ (注1)	湯温が低くなっています	[機能]16の「適温設定」の湯適温 の設定温度を下回っている	温水タンクヒータのチェックをしてくだ さい ヒータが正常ならば湯温度が上がる まで待ってください	
523	HOT1ユオンド ウリキレ	HOT1飲み頃湯温度 売切	ホット1飲料の販売温度が飲み頃温度 より低くなっています	[機能]12で飲み頃温度が有効に 設定されている際に、販売温度が [機能]01の飲み頃温度設定より 低くなっている 設定温度+7℃より低くなっ ている	温水タンクヒータのチェックをしてくだ さい ヒータが正常ならば湯温度が上がる まで待ってください [機能]12で飲み頃温度を無効に設定 します [機能]01の飲み頃温度を下げます	
524	HOT2ユオンド ウリキレ	HOT2飲み頃湯温度 売切れ	ホット2飲料の販売温度が飲み頃温度 より低くなっています	[機能]12で飲み頃温度が有効に 設定されている際に、販売温度が [機能]02の飲み頃温度設定より 低くなっている 設定温度+7℃より低くなっ ている	温水タンクヒータのチェックをしてくだ さい ヒータが正常ならば湯温度が上がる まで待ってください [機能]12で飲み頃温度を無効に設定 します [機能]02の飲み頃温度を下げます	
525	HOT3ユオンド ウリキレ	HOT3飲み頃湯温度 売切れ	ホット3飲料の販売温度が飲み頃温度 より低くなっています	[機能]12で飲み頃温度が有効に 設定されている際に、販売温度が [機能]03の飲み頃温度設定より 低くなっている 設定温度+7℃より低くなっ ている	温水タンクヒータのチェックをしてくだ さい ヒータが正常ならば湯温度が上がる まで待ってください [機能]12で飲み頃温度を無効に設定 します [機能]03の飲み頃温度を下げます	
531	ミズ フィルタ アラーム	水フィルタアラーム	水フィルタの交換時期になっています	[タイマ]28のアラーム日数または流 量を越えた時	水フィルタを交換し、[タイマー]28にて 再設定してください	○
532	レイキャクフィルタ アラーム	冷却ユニットフィルタ アラーム	冷却ユニットフィルタの清掃時期になっ ています	[タイマ]30のアラーム日数を越えた時	冷却ユニットフィルタを清掃し、 [タイマー]30にて再設定してください	○

(3)売切内容一覧表

キーボード操作による故障診断

キーボード操作による故障診断

(3) 売切内容一覧表(つづき)

売切No.	売 切 表 示 文 字	売 切 名	売 切 内 容	売 切 条 件	解 除 方 法	点検ランプ 対象
533	ハイキフィルタ アラーム	排気ファンフィルタ アラーム	排気ファンの清掃時期になっています	[タイマー]27のアラーム杯数を超 えた時	排気ファンフィルタを清掃し、[タイマー] 27にて再設定してください	○
534	スイソウスイコウカン アラーム	水槽水アラーム	水槽水の交換時期になっています	[タイマー]29のアラーム日数を超 えた時	水槽水を交換し、[タイマー]29にて再設 定してください	○

(注1) [機能]14にてホット飲料が「ヒテキオンOK」に設定されている場合は、どのような湯温でも売切表示されません。

(注2) [機能]14にてコールド飲料が「ヒテキオンOK」に設定されている場合は、どのような冷水温でも売切表示されません。

(注3) 点検ランプ対象 ○:点灯 △:点滅

キーボード操作による故障診断

(4)故障モニター一覧表

故障No.	故障表示文字	故障名	故障内容	故障条件	解除方法	過去故障対象	点検ランプ対象
001	メモリデータミセットイ	メモリデータ異常	メモリデータが正規でない (メモリデータが停電時バックアップできない)	メモリデータが正規でない (メモリデータが停電時バックアップできない)	[記憶/動作]キーを3秒間長押し、標準データをロードする		△
002	トケイデータミセットイ	時計データ異常	時計データが正規でない	時計データが正規でない	[タイマ]01にて現在時刻を再設定してください		△
011	ユセンサ タンラク	湯温度センサショート	湯温センサがショートするとき	湯温センサからの入力電圧が異常値です	湯温センサ交換、またはセンサとハーネスの接続チェックする	○	△
012	ユセンサ カイホウ	湯温度センサオープン	湯温センサがオープンするとき	湯温センサからの入力電圧が異常値です	湯温センサ交換、またはセンサとハーネスの接続チェックする	○	△
015	レイスイセンサ タンラク	冷水温センサショート	冷水温センサがショートするとき	冷水温センサからの入力電圧が異常値です	水温センサ交換、またはセンサとハーネスの接続チェックする	○	△
016	レイスイセンサ カイホウ	冷水温センサオープン	冷水温センサがオープンするとき	冷水温センサからの入力電圧が異常値です	水温センサ交換、またはセンサとハーネスの接続チェックする	○	△
021	ロウスイケンチ	漏水検知	漏水検知器にて漏水状態を検知しています	漏水検知器にて漏水を検知した時	漏水箇所を修復し、センサ部の水をきれいに拭き取り、乾燥させてください	○	△
031	フットウケンチ	沸騰検知	温水タンク内の湯が沸騰しています	湯温センサからの入力電源が異常または販売待機状態で異常に給水回数が多い場合	沸騰の原因を取り除き、電源リセットし、[機能]15にて設定温度を見直す	○	
032	カラダ キケンチ	空焚き検知	温水タンクが空焚き状態です	過昇温防止サーモが5秒間連続して異常温度を検知している	空焚きの原因を取り除き、電源を再投入する	○	△
041	ユタンクキュウスイイジョウ	温水タンク給水異常	一定時間または一定量を給水しても温水タンクが満水にならない	●低水位スイッチON時からの給水時は12分または11L給水しても温水タンク高水位スイッチがONしない場合 ●低水位スイッチOFF時からの給水時は8分または7L給水しても温水タンク高水位スイッチがONしない場合	原因を取り除き、コントロールボックスの[給水]スイッチを再度押す	○	△
042	スイソウキュウスイイジョウ	水槽給水異常	一定時間または一定量を給水しても水槽が満水にならない	●電源投入時から水槽水位での給水時に8分または7L給水しても水槽水位が満水にならない場合 ●水槽水位が満水→低水位と変化しての給水時に1分または1L給水しても水槽水位が満水にならない場合	原因を取り除き、コントロールボックスの[給水]スイッチを再度押す	○	△

(注) 点検ランプ対象 ○:点灯 △:点滅

連絡していただきたい内容

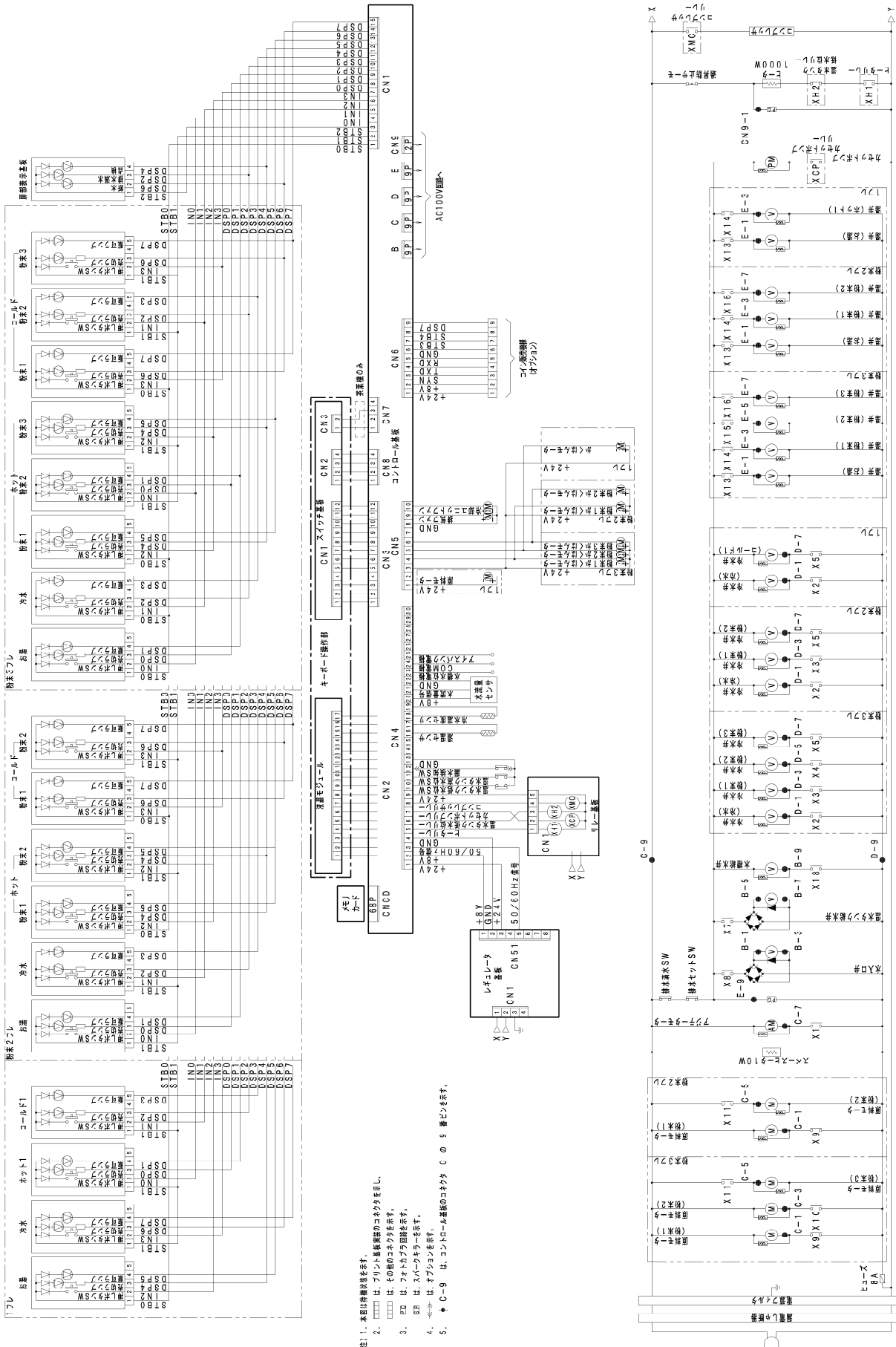
- ご住所
- ご氏名
- 電話番号
- 形式名
- 製造番号
- ご購入日
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

製造年月日の表示

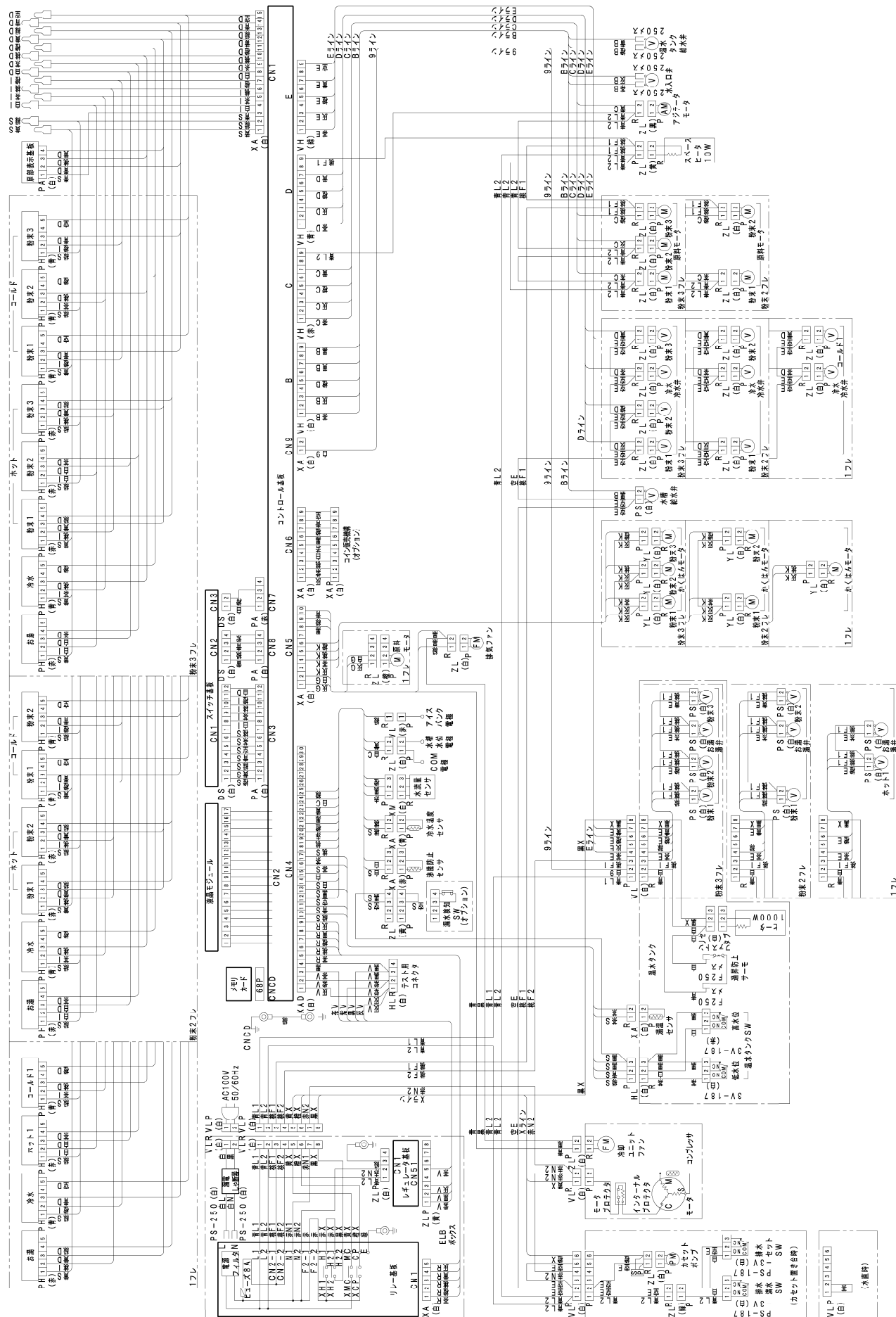
本機右側面下部に、機番の上3桁で製造年月を表示してあります。上1桁で製造した西暦年の下1桁を表し、上2・3桁目で製造月を表します。

◇ 2008年7月製造は 807・・・となります。

シーケンス



結線図



MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]



富士電機リテイルシステムズ株式会社

自動化機器事業本部 全国サービス網住所

修理受付のご用命は全国共通ナビ・ダイヤル TEL0570-056022 へご連絡下さい。

(コールはフジ)

ロジ・テック北海道(株) (北海道サービスセンター)	〒065-0042	北海道札幌市東区本町ニ条 10-1-6	TEL 011-782-2722
東北サービスセンター	〒984-0011	宮城県仙台市若林区六丁の目西町 7-33	TEL 0120-112479
東日本コールセンター	〒101-8625	東京都千代田区外神田 6-15-12	TEL 03-5818-2371
西日本コールセンター	〒533-0031	大阪府大阪市北区中津 5-2-14	TEL 06-6458-1511
中国サービスセンター	〒733-0003	広島県広島市西区三篠町 1-3-15	TEL 082-537-0001
四国サービスセンター	〒760-9978	香川県高松市今里町 1-28-10	TEL 087-862-2179
九州サービスセンター	〒813-0023	福岡県福岡市東区蒲田 2-39-47	TEL 092-663-2141
沖縄サービスステーション	〒900-0005	沖縄県那覇市銘苅 2-4-51 (ジエイ・ツビル3階)	TEL 098-863-1220

自動化機器事業本部 全国支社・営業所網住所

北海道支社	〒003-0029	北海道札幌市白石区平和通2丁目北 5-16	TEL 011-861-1411
東北支社	〒980-0011	宮城県仙台市青葉区上杉 3-3-30 (東北富士電機ビル2階)	TEL 022-261-1616
青森営業所	〒030-0812	青森県青森市堤町 2-1-7 (TAP堤町ビル)	TEL 017-775-8071
盛岡営業所	〒020-0823	岩手県盛岡市門 2-22-34	TEL 019-626-0157
福島営業所	〒963-0111	福島県郡山市安積町荒井字六角田 9-1	TEL 024-945-8947
東京支社	〒101-8625	東京都千代田区外神田 6-15-12	TEL 03-3832-7171
長野支店	〒399-0033	長野県松本市大字笹賀 7941 大久保工業団地内	TEL 0263-25-4040
関東支店	〒330-0843	埼玉県さいたま市大宮区吉敷町 4-261-1 (キャピタルビル4階)	TEL 048-600-3655
千葉支店	〒260-0032	千葉県千葉市中央区登戸 1-26-1 (朝日生命千葉登戸ビル10階)	TEL 043-301-7575
新潟営業所	〒950-0965	新潟県新潟市中央区新光町 16-4 (荏原新潟ビル6階)	TEL 025-283-1265
神奈川支社	〒222-0033	神奈川県横浜市港北区新横浜 3-20-8 (ハネックスS-3ビル5階)	TEL 045-474-2271
静岡支店	〒422-8036	静岡県静岡市駿河区敷地 2-9-10	TEL 054-238-7620
中部支社	〒453-0041	愛知県名古屋市中村区本陣通 3-55	TEL 052-481-7301
北陸支社	〒920-8203	石川県金沢市鞍月 5-181 (AUBE3階)	TEL 076-237-7544
関西支社	〒531-0071	大阪府大阪市北区中津 5-2-14	TEL 06-6458-1951
中国支社	〒733-0003	広島県広島市西区三篠町 1-3-15	TEL 082-230-5561
岡山営業所	〒700-0921	岡山県岡山市東古松 1-3-20	TEL 086-224-8088
山陰営業所	〒690-0007	島根県松江市御手船場町585番地 (たちきビル)	TEL 0852-22-0700
四国支社	〒760-0078	香川県高松市今里町 1-28-10	TEL 087-862-2176
松山営業所	〒791-8044	愛媛県松山市西垣生町 801-1	TEL 089-972-3671
九州支社	〒812-0024	福岡県福岡市博多区綱場町 8-23 (朝日生命福岡昭通ビル8階)	TEL 092-283-6111
熊本営業所	〒862-0976	熊本県熊本市九品寺 2-1-24 (熊本九品寺ビル6階)	TEL 096-375-6155
鹿児島営業課	〒862-0976	熊本県熊本市九品寺 2-1-24 (熊本九品寺ビル6階) 熊本営業所内	TEL 096-375-6155
沖縄営業所	〒900-0005	沖縄県那覇市銘苅 2-4-51 (ジエイ・ツビル3階)	TEL 098-867-3999
三重部品センター	〒510-0013	三重県四日市市富士町 1-27 (ナビ・ダイヤル)	TEL 0570-011022
埼玉部品センター	〒369-0198	埼玉県鴻巣市前砂 160-1 (ナビ・ダイヤル)	TEL 059-330-0170
			TEL 0570-077022
			TEL 048-547-1481
本社	〒101-8625	東京都千代田区外神田 6-15-12 [大代表]	TEL 03-3832-1251
		[自動化機器事業本部メンテナンス営業本部 カスタマーサービス部]	TEL 03-5818-2071
		[自動化機器事業本部 商品企画本部 商品技術部]	TEL 03-5818-2067
			'08. 07. 01現在